

初

“もう、おこれっちゃん！” 城倉貞子さんの6年間
アンディ九十九（つくも）の「地球の味わい」
「事故に遭う名前・雑感」丹華麗
屏風に魅せられたカナダ人・バーモンド氏
あ〜あ〜憧れのハワイ空路・杉本花粉
オジサン音楽愛好家の嘆き・高柳俊明
冬のゴルフは5寸クギ持参で・三枝与一



カナダのライフスタイル誌・第37号2002年冬・早春・4ドル

Imagine what we can do for you.
We have.

Canon KNOW HOW™

Canon Canada Inc.

和

2002年冬・早春 第37号



イベント・カレンダー	三枝与一	2
「マイゴルフ」冬のゴルフ		4
近況報告・版画家松原直子さん	尼子三矢子	5
見たり聴いたり試したり	半田宏治	6
「東京裏通信」"東京無作法事情"	辻本明子	8
「某月某日」"皇帝の椅子"		11
「暗黒の厳寒の中を走る世界最長の犬橋レース"	足立誠之	12
お茶会点描・裏千家トロント支部		15
「カナダ往還」"ハルース"と"カッサール"	かじはらゆか	16
「もう、おこれっちゃう！」城倉貞子さんと	月華麗	18
「名前の散歩道」事故に遭う名前・雑感	日塔富夫	19
「絵と文」屋根の上のえんげき?	杉本花粉	20
「言わせてヨ！」"あ〜あ〜憧れのハワイ空路"	後藤順子	22
「不老長寿の薬を探して」鍼灸応用編	山本博	24
アンディ九十九(つくも)の「地球の味わい」	鈴木ユウ	26
「屏風に魅せられたカナダ人」ルイズ・バーモンド氏	青柳俊明	28
「言葉の笑壁」"食材"と"日本食"	五島宏治	31
「愛聴盤の世代」オジサン音楽愛好家の嘆き	梶原由佳	32
「マニトバ通信」アライアンスチャーチの松原信雄さん	森貞一弘	34
「リスクテール村のモンゴメリ」		36
「パソコンでルンルン♪気分」		38
「本の紹介」"宮沢賢治の謎"宗左近著		39
編集室から		40
表紙 松原直子		
デザイン 野尻佳子・山本博・日塔富夫		

1部 4ドル



Events Calendar



トロント

- コンサート
- ▽ミッシェル・ルグランとフィル・ウツズ
- 三月一日・ロイトムワンホール
- 多くの映画音楽で有名なミッシェル・ルグランとアルトサクスのフィル・ウツズが共演するプリンススマーガレット病院の基金募集公演。
- ▽ウイントン・マルサリス・セクステット
- 三月三日・マッシーホール
- ▽ジョン・キムラ・パーカー・アート・ポツプス
- 三月二五日〜二七日
- ロルフ・パートシュ指揮のトロント・シンフォニーと共演、メンデルスゾーンからガーシュインまで共演。

www.roythomson.com

オタワ

- ダイナザウルス展
- 三月三一日まで・ロイヤルオンタリオ博物館
- ロシアのアカデミー・オブ・サイエンス古生物研究所からの出展による一億五千万年前の恐竜のスケルトンと化石卵の実物多数。
- 416-586-8000, www.rom.on.ca
- ナショナル・ギャラリー
- ▽[No Man's Land]
- 二月一日〜五月十二日
- カナダの写真家リン・コーヘンの七十年代後半から現在までの作品六九点。
- http://national.gallery.ca
- [Kaskinana Lopper]
- ガチノーパーク・クロスカントリー・スキー、ワールド・ロベットサーキット、二月十五日〜十七日
- ナショナル・アートセンター・パフォーマンス
- ▽[アニアル・ブラック&ホワイト・オペラのタベ]
- 二月十六日
- ロジャー・アボットとドン・ファアガソンのロイヤル・カナディアン・エアファルスの出演
- ▽[オペラ・ラボエーム]
- 四月十二日、十五日、十七日、二十日
- ▽[The Far Side of The Moon]
- ロベール・ルバーシエ作・演出の劇
- 三月二七日、二八日

モントリオール

- 「ヘルベルト・リスト写真展」
- モントリオール美術館
- 一月二二〜四月二八日
- ミューゼン写真美術館所蔵の二十世紀の偉大な写真家の一人、ドイツのヘルベルト・リストの作品二二八枚の展示、彼の友人ピカソ、ストラビンスキー、コレット、パゾリーニの横顔も含む。
- +285-2000, www.mban.qc.ca
- イベント
- ▽[フラネタリウム]
- 「天候の変化」(二月二四日〜三月十七日) グリーンハウス現象と地球温暖化
- 「ファラオの天文学」(二月二四日〜五月二十日)
- 「ダイナザウルスと仲間達の滅亡」(二月三一日〜九月二日)
- 514-872-4530
- ▽[インターナショナルオートショー]
- 一月二五日〜二月三日
- オリンピックスタジアム
- 514-331-6571
- ▽[第二十回モントリオール雪祭り]
- 一月二六日〜二月十日
- ジャン・ドラボー公園、スケート、スノーゲーム等々冬季最大のアウトドアイベント
- 1-800-797-4537



日新 NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

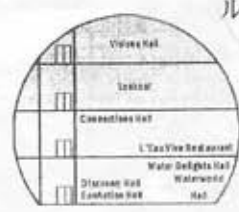
航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／
海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び、「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供します。

Toronto/ 42 Voyager Ct, N. Etobicoke, ONT.M9W 4Y3 Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881
Alliston/ 292 Church St. S., P.O.Box 149, Alliston, ONT Tel: (705) 434-3136 Fax: (705) 434-3140
Vancouver/ #6-11411 Placksmith Place, Richmond, B.C. V7A 4T7 Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

▽「セントローレンス川、五大湖から
大西洋までのエコシステム」
二月一日〜四月三十日
バイオ・スフェール
514-283-5000



▽「エアレンツ&キッズ・フェア」
三月二日〜二四日
ボナベンチャー・プレース
健康、栄養、病院、医者、デイケア
家族活動、教育の各分野で親はど
うあるべきかショー
514-272-8885

■舞台・コンサート
▽「オペラ・椿姫」
二月九、十一、十四、十六、二十、
二三日、プラスデザール
▽「オペラ・トスカ」
三月九、十一、十四、十六、二十、
二三日、プラスデザール
514-985-2258
▽「オーケストラ・ブラハからニュー
ヨークへ」二月十二日
ウィルフレド・ベレティエ・ホール
モントリオール・シンフォニーのスマ
タナの「モルダウ」とドボルザークの
「新世界」コ・パリソット指揮
514-842-9951
▽「打楽器とモダン・ダンス」
三月二日〜二四日
Espace Tangente
日本から「レオグラファー・ダン

サーのアライ・ビデオが来て、モン
トリオールのカネシユアナダン、パ
トリック・グラハムの音楽と共演。
514-525-1500

ハンクーパー

■イベント
▽チャイニーズ・ニューイヤール・フェステ
イバル 二月八日〜十一日
パシフィック・コロセウム
www.pne.bc.ca 604-273-1655

▽ゴルフ・トラベル・ショー
二月十五日〜十七日
BCプレーススタジアム
604-929-7442
▽ホーム・ガーデン・ショー
二月二十日〜二十四日
BCプレース・スタジアム
604-412-2288

▽「マドレーヌ・アルブライト」
北米女性レクチャー・シリーズ
二月十二日オルフェウム・シアター
604-280-4444
▽パシフィック・インターナショナル
オートショー
四月六日〜八日
BCプレース・スタジアム
604-214-9964

■演劇・バレエ・コンサート
▽「All My Sons」アサ・ミラー
〜二月二四日スタンリー・シアター
第二次大戦後の家族の葛藤を描
く、今シーズン、アメリカン・クラシ
ック・ドラマが三本上演される。
604-687-1644

▽「ジゼル」ロイヤル・ウィニベグ・バレ
エ団
二月二日〜二三日
クイーンエリザベス・シアター
604-280-3311

▽「バレエ・椿姫」アルバート・バレエ
四月十二日、十三日
クイーンエリザベス・シアター
www.city.vancouver.bc.ca/theatres



▽「Dinner with Friends」
三月八日〜四月七日
スタンリー・シアター
ドナルド・マーグリーズ作二〇〇〇
年ピューリッツァ賞受賞ドラマ
www.artsclub.com

▽「ザ・レインメーカー」
三月十八日〜四月十三日
バンクーパー・ブレイハウス
主人公スターバックのキャラクター
で有名なリチャード・ナッシュの作
品。 604-873-3311
▽「二十日鼠と人間と」
スタインベックの小説を劇化
三月二三日〜三十日
クイーンエリザベス・シアター
604-280-3311

▽「マレー・ペライア・ピアノ・リサイタ
ル」
四月二日 チャン・センター
▽「アルフレッド・ブランデル・ピアノ
リサイタル」
四月九日、チャンセンター
604-602-0363, www.yanreital.com

日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881



冬のゴルフ

装備を固めてプレーする楽しみ
必需品はハンマーと五寸クギ

三枝与一

カナダに移ってからは健康増進のために、夏は野球、冬はダウンヒルスキーに熱中した。四十五才を過ぎてからは、身体に無理のない、家内と一緒に出来るスポーツ、夏はゴルフ、冬はポールルームダンスに変わり、今もまだ続いている。私のゴルフシーズンは、暑い夏が過ぎて涼風が立つ秋の訪れと共に佳境に入る。次に私のカナダでの七年

私が初めて、ゴルフのクラブを握ったのは、シカゴ生活が始まった一九六八年の春、毎月の会社のコンペに出場するようにからです。それ以前のブラジル生活では野球や釣りを楽しんでいました。日本に帰ってからは、会社の上司のお供でゴルフは続けていたが、楽しくはなかった。



そして私のゴルフはスコアメイクよりも楽しいゴルフを念頭に置いているので、ゴルフ歴は古くともちつとも上達はしていません。女性のロッカールームとゴルフ理論は覗くものではないと言われているので、今だにゴルフ理論は解りもせず、ましては女性のロッカールームは覗く機会もなく残念に思っています。しかしゴルフマナーだけは常に自分に厳しくしたプレーを心掛けています。

この記録はここトロント(フロリダではない)で、その年に最初にプレーした日と最後にプレーした日の記録です。決して、私一人でゴルフをしているわけではなく、友達のYさん、Mさん、Sさんに無理やり連れて行かれていたと思っています。そして私のゴルフはスコアメイクよりも楽しいゴルフを念頭に置いているので、ゴルフ歴は古くともちつとも上達はしていません。女性のロッカールームとゴルフ理論は覗くものではないと言われているので、今だにゴルフ理論は解りもせず、ましては女性のロッカールームは覗く機会もなく残念に思っています。しかしゴルフマナーだけは常に自分に厳しくしたプレーを心掛けています。

間の記録があります。
一九九五年二月十九日—十一月五日
九六年二月二十五日—十二月一日
九七年三月三十日—十二月二九日
九八年二月二二日—十二月十四日
九九年三月二九日—十二月八日
二〇〇〇年一月九日—十二月四日
〇一年四月一日—十二月十二日現在進行形
九九年と〇一年は訪日のため出遅れた。
この記録はここトロント(フロリダではない)で、その年に最初にプレーした日と最後にプレーした日の記録です。決して、私一人でゴルフをしているわけではなく、友達のYさん、Mさん、Sさんに無理やり連れて行かれていたと思っています。

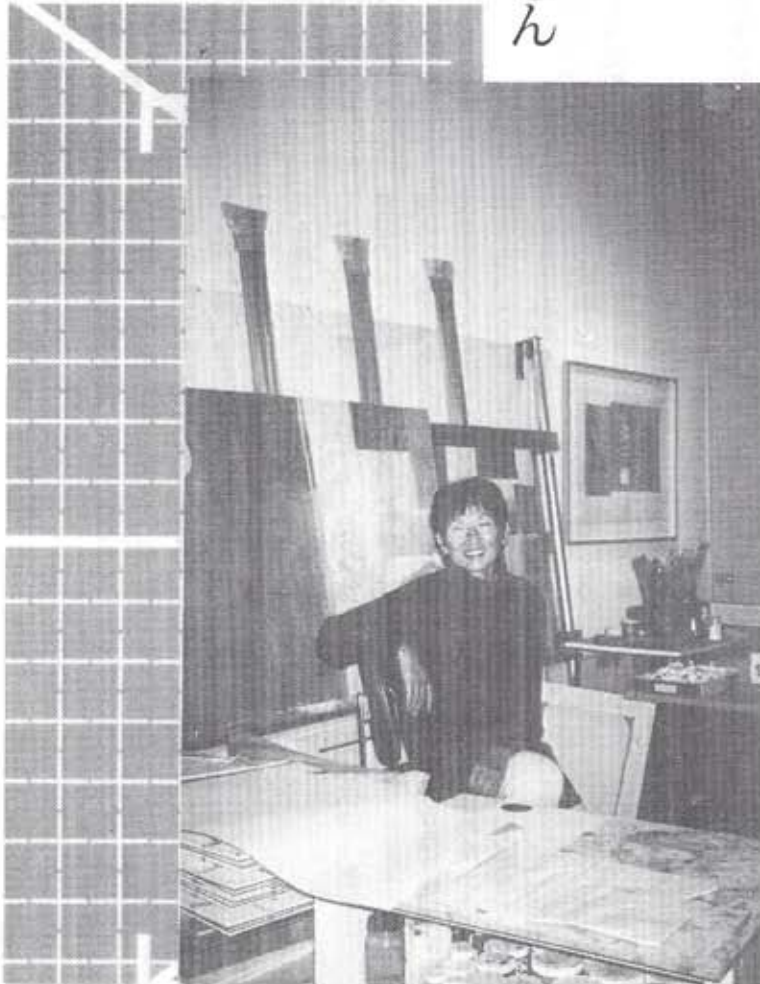
最後にありますが、私が常にモットーにしている『己所不欲、勿施於人』(己れの欲せざる所 人に施すなかれ。)この言葉はゴルフのマナーの基本でもあり、日常生活でも必要なことと思っています。

以上の装備の他に、大事な工具は、五寸クギと木ズチで、これは凍りついたティグランドに、ティアップ用の穴をあけるのに必要欠かせない道具です。このように準備をしてゴルフ場に行きますと、空気は澄んでいるし、プレイヤも少なく、冬のゴルフも満更捨てたものではありません。夏場のゴルフ仲間は大勢いますが、冬のゴルフ仲間は三人くらいで、Yさん、Mさん、Sさんにはいつも感謝をしています。

必要です。暑い日、寒い日、風雨の日、みぞれの日、これらの気象条件に合わせて、シューズ、ウエアー、キャップ等を買って揃えているうちに、シューズは三十足以上、キャップは六十個以上、ウエアーは数えたこともない、冬のゴルフに着る裏付きのスポーツは雨天用も含めて六着にもなった。冬のゴルフは私の健康のバロメーターでもあり、少しでも体調をくずしたり、痛いところがあつては、体感温度零下五〜六度、雪や寒風の吹き荒む中のゴルフは耐えられない。次のイラストを見て想像していただきたい。

近況報告

版画家 松原直子さん



昨年はオークビルに新築されるY M C Aから依頼された壁画にかかり切りだった。二十四枚の木版を合わせた大壁画である。十一月はじめにほぼ完成、今年五月のオープンングまで細かい手直しをしているところだ。Y M C Aだからスポーツをテーマにして思いっきり明るく楽しいカラーにしたそうで、アトリエの壁に掛かっている壁画に思わずアツと目を見張る。あのチベット・シリーズで受けたのと同じ衝撃を受ける。そして松原さん、また新しい境地を開い

たな、と思う。チベット・シリーズはアプストラクトの峻烈・鮮烈な原色の世界だったが、こちらは底抜けに明るく柔らかな色彩によるスポーツの抽象、しかも木彫りなのでほのぼのとした暖かみが伝わってくる。オープンングまでのお楽しみ。壁画の写真はまだお見せできません。

そういうわけで、クリスマスを終えてから、親子三人家族で、マイアミ発のクルーズでパナマ運河、コスタリカ、コロンビアの旅に骨休めに出かけた。パナマ運河は面白い所よ。百聞は一見に如かず。行ってご覧なさい」とお勧め。コスタリカでは河のぼりやヘリコプターのジャングル訪問でカラフルな鳥やナマケモノなどの珍獣に遭遇。コロンビアでは中南米の哀しく厳しい歴史や現実に接したという。

今日二十八日からオークビルの自宅のキッチン改造に着手する。他の部屋は全部改築したがキッチンだけが残っているそうだ。四週間キッチン無しの生活になるので、どうしようかと思っているそうである。

新司・割烹みかど

- お子様メニューもございます。
- お寿司その他デリバリー致します。
- 20名様までご宴会うけたまわります。

シェフ オーナー 樹田佳一
114 LAIRD DR. LEASIDE, ONTARIO
PHONE: 421-6016 **LICENCED**
日曜日オープン(月曜休業)



東京ツアーズ(株)
TOKYO TOURS LTD.



まごころと感謝を胸に

旅

のご相談にお応じます。

TORONTO HEAD OFFICE

Tel:(416) 504-5111 Fax:(416)504-5115
436 Adelaide Street West, Toronto, Ontario M5V 1S7

FUJI VIP CONNECTIONS

Tel:(905) 672-8855 Fax:(905)672-8860
Sheraton Gateway Hotel / Toronto International Airport

MONTREAL

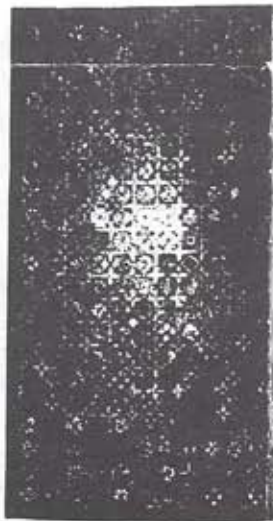
Tel:(514) 842-1757 Fax:(514)842-0916
625 Ave Du President Kennedy, Suite 1203, Montreal, Quebec H3A 1K2



◇宇宙のシンフォニー

小尾節子さんのキルト、アメリカン・フォークアート美術館コンテストに入選

トロントに元住んでいた小尾節子さん（一九五〇〜一九九八年）のキルト作品が、ニューヨークのアメリカーン・フォークアート・ミュージアム（Columbus Ave at 65th St.）のキルト・コンテストに入選して展示された。この展示は四月に名古屋、その後カルガリーを巡回す



る。小尾さんの作品「かなたからの光」

（Light from Far-away Space）は、日本の古い絹布を江戸小紋のような細かい文様に縫い合わせて、グラデーシオンによるシェイドを付け、遠い宇宙からの光を微妙な色彩のシンフォニーで表現したもの。雑誌「ニューヨーク」は「入選作品の多くがデジタル写真の転写を活用しており、スウェーデン製椅子（大賞受賞のマルタ・アムンドリン作）をはじめとして、いろいろな物の映像は従来の正方形の布切れ接ぎ合わせの手法から変貌してきている。しかし、こういった技術革新といえども日本の古布を縫い合わせた小尾節子の美しいキルト作品と較べると色あせて見える。」と評価、紹介している。

小尾さんは自動車会社勤務のご主人の任地、ロサンゼルスでキルトを学び、英国で認められ、国際キルト・コンテストに何回も入賞、その作品のひと

つはリヨンの織物美術館の永久保存品になっている。トロント滞在中もキッチンで作品展を開くなど活躍をしていた。

◇中村誠ポスター展

資生堂専属グラフィック・デザイナーとして長年にわたって実績を持つ中村誠氏のポスター展が二月七日から四月十三日までトロント国際交流基金ギャラリーで開かれる。

中村誠氏は盛岡市出身、一九四八年東京美術学校（芸大）卒業資生堂に入社、一九九八年まで五十年間資生堂の美術部門を担当した。デザインは化粧品のイメージ造りのコアにあり、中村氏は自らもデザイナーとして働くと同時に、アート・ディレクターとしてパッケージ・デザインからアドバタイ



JTB

ご旅行の御相談は
お気軽に JTB へ!!

JTB INTERNATIONAL (CANADA) LTD.

Royal Trust Tower, Suite 3105, 77 King Street West
Toronto, Ontario M5K 1E7 Fax: (416)367-4859

Tel: (416)367-5824 (JTBI)



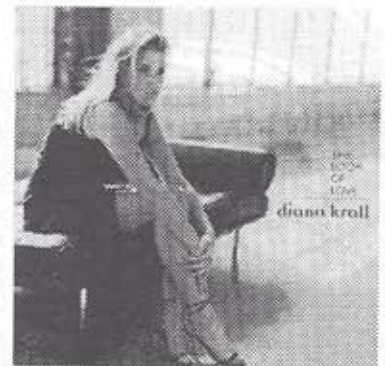
航空券、ホテル、レンタカー、ツアー、クルーズ

ジング、雑誌「花椿」と同社のアート・イメージを統括した。

トロントで展示されるのは一九六三年から一九九七年まで作品四十五点、モデルを使つての作品は日本伝統の美人画を現代に蘇生させたものとして評価されている。「ともかく華やかです。六十年代の作品でも今見てもちうとも古くない」と担当者は語る。多い時は毎月一本の作品を作っていたというから、大変な数である。一九九九年にはルーブル美術館の創作工芸アートセンターの「百モノリザの微笑展」の一人に選ばれて参加。また彼の作品は三ーヨークのモダンアート美術館、東京の国立近代美術館のパーマナントコレクションに入っている。

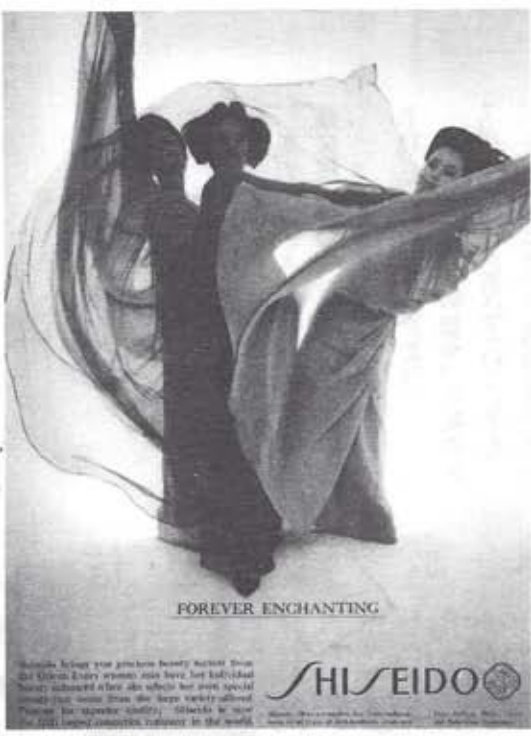
◇ダイアナ・クラールの新CD
「ザ・ルック・オブ・ラブ」

ベストセラーの「When I Look in Your Eyes」(一九九九年)に続くダイアナ・クラールの新アルバム。トップ女性ジャズ歌手として活躍するクラールはBC州ナナイモ出身、八歳の時からピアノを学び、ジャズ・ピアノリスト兼ボーカリストとして長い経歴を重ねてきた。ナット・キング・コール・トリオに捧げた「All for You」(一九九六年)や「ラブシーン」(一九七七年)はグラミー賞候補になった。昨年秋発売のこのアルバムは前作同様シンフォニー・オーケストラとの共演。スロー・ボサノバの「ダンシング・イン・ザ・ダーク」や「アイ・リメンバー・ユー」、スペイン語の「ベサメ・ムーチョ」はじめ「ス・ワンダフル」「クライミー・アリバー」「ラブレター」など十曲。コント・ロールのよく効いた唱法、選曲もよく編曲も完璧、計算しつくされて制作されている。全部スローバラードでイージリスニング的にジャズボーカルを楽しむのよい。(ヴァーヴ・レーベル)



◇ソクローフ監督の日本の作品「ハンプル・ライフ」と「オリエンタル・エレジー」

ロシアの映画監督アレキサンドル・ソクローフが日本で撮影した映画が上映される。奈良県の山奥の女性を描いた「ア・ハンプル・ライフ」(一九七七年)と孤島のイメージ「オリエンタル・エレジー」(一九六六年)の二本。(二月二十日 AGO ジャックマンホール 416-968-4111)



SHISEIDO



タウンページ



夢広がる人と人とのコミュニケーション

タウンページの
広告掲載に関するお問い合わせは
Unitech Trading まで...

623 Village Parkway, Markham, Ont. L3R 2K8
<http://www.e-townpages.com> E-mail: info@e-townpages.com
Tel: (905) 477-9274 Fax: (905) 477-0360

最近、若い人から来る手紙、その他に腹が立つ事が多い。

二、三日前にパソコン仲間三十名ほどで一泊旅行をした。

翌日から皆の感想や、お礼のレズが届き始めたのはよいとしても、三十代なのに六十代の幹事さんに、のつけから「昨日は御苦労様でした」などと打って来る。「御苦労」というのは、目上の者が目下の者に言う言葉だと言うことを知らないらしい。それを言うなら「お疲れ様でした」とか「お世話になりました」とか、日本語にはいろいろ良い言葉が幾らでもあるのに、よりによって「ため口」をきく事はあるまいと、他人事なのにこのオババは腹が立つのだ。

私は日本のあるお役所が発行している雑誌に、長い間エッセイを連載させて貰っている。最近窓口の担当者が代わったので、挨拶があるかと待っていた。原稿を送ってもそのままだし、原稿料の為替の通信欄にも何も書いて来ない。業を煮やし

東・京・裏・通・信

東京無作法事情

尼子三矢子



て「私は新しい担当の方の御名前を存じ上げませんので、お教え下さい」とファックスに入れてみた。

すると、二三日して、あきれた事に拡大コピーされたその人の名刺が、カタカタとファックスからはき出されて来て「T O アマコミヤコ様 4649」と汚い字で添え書きがしてあった。外国語なら仕方ないとして「T O」はないだろうと思う。しかも私の名前はカタカナだ。「尼」という文字は、めったに書かないので間違う人もたまにはいるが、相手は名にしおう省庁なのだ。しかも「これからも宜しくお願いします」も何もない。怒りが爆発しそうにな

った。でもこの「4649」って何だろう？と思つて、首をひねつて「そうか！」とわかった。4649はヨロシクの事なのだ。ふざけるでない！そう言えば、前の担当者も「部署が代わるので次の人は誰々です」という事も言わず、お化けのように消えて行った。

なつていない！と怒りまくっている最中である。

リベンジのために、次の原稿を書かない事にしようか、又は上役の人に教育がなつていないと進言するか、考えてみたものの相手は別に私に敵意がある訳でもない、只々無作法で物を知らないだけなのだと自分言いきかせて、モヤモヤとしている。

又こんな事もあった。私が主催しているジャズを聴く会があつて、たまには会員がお土産を下さつたりする。その日は良いプログラムで大勢の参加者があつたので、一人々とゆつくり話すことが出来なかつた。

その中で若い女性が「ハイこれ」と私に何かを下さつた。「あ、何ですか？」「ブドウから作った食用油です」「アラ珍しい、有り難う」と紙に包まれたポリ容器瓶を自分のリュックサックに入れた。ゴチャゴチャア札を言っていると、他の会員の人にお土産を要求しているように思われないか、という私の配慮もあつて、それきり家に帰つてきた。

さて、リュックの中に手を入れて途端アレツと思つた。私の手は油だらけだ。すぐ中身を出してみた。無惨にも財布の中の紙幣までびしょり油漬けになつている。貰つた容器は最初からかぶせ蓋が開いていたらしく、油は半分以下になつている。直ぐ彼女に電話を入れた。「食用油を有り難うございました。でもあれ途中で蓋が開いてリュックの中が油だらけになつちやつた！」「えーッ本当？あの匂いウチじゃあ嫌いなので持ってたんですよー」「あら、使いかけたら？お金や手帳が油で大変なの」「バレたか……こめ

んなさアーい」ガチヤンである。

その後私は、なけなしの小遣いで買ったプラダのリュックを捨て、ラルフローレンの財布を捨て、銀行に紙幣を交換に行き、腹を立てながら後始末をした事は言うまでもない。

何年前かに私は母を亡くした。母は下宿業をやっていたため大きな軒家が残されていた。袋小路になった突き当たりの家で、隣家とは一本の道を共有している。そこを知り合いが貸してくれないかという話になり、事前に見ておこうかと、久しぶりに母の家に行ってみた。ところがその路に入った途端、エツ、家を間違えたかしらと思ったほど、様変わりをしていたのだ。路の半分以上に、隣家のベランダが建築され、路はガーデニングの庭と化していたのだ。

これは明らかに袋小路法違反、消防法違反なのだ。

東京では共有道路に建築物を増築したり、私道に物を置くことは道路を持つている人同士が納得づくでやったことでも犯罪なのだ。

…で隣家の奥さんにその旨を言葉柔らかに申し上げた。すると彼女の返事は「でもオタクが住む訳じゃないでしょ。それに建てちゃった物は仕方がないじゃない？」私はカーツ

と頭に血が登った。もし「あら、ご免なさいね。オタクと違って家には庭がないもので、申し訳ないけれど目をつぶって下さらないでしょうか」とでも言えば、私は許してあげようと思っていたのだ。もしこの家売る日が来たら絶対法律に基づいて、隣家に路を元に戻して貰うつもりである。

ああ、その他にもスーパリーのレジで値段を聞いてからやつと財布を出すヤツ。切符を買うのに、後ろに並んでいる人の事も考えないで、行く先を確かめたらモソモソと財布を覗くヤツ。銭湯や温泉の大浴場で、掛け湯も下湯も使わないで、汚い体のままドボンと入ってくるヤ

ツ。掲示板の地図を見ている私の前に立ちふさがって、自分の行く先を探しているヤツ。電車の中で平気で化粧を始める若い女。
まだまだ東京に住んでいると腹が立つエピソードが数々ある。憤死しない前に、いつの日か第二弾として書かせて頂くつもりである。



When you're getting winter tires for your car, light truck or SUV, you should consider nothing less than Blizzaks from Bridgestone. You see, Blizzak's Uni-T technology and multi-cell compound bites through snow and actually sticks to ice. So if you want to add a new level of confidence and security to your winter driving, visit your Bridgestone retailer. And get a grip.

BRIDGESTONE
BLIZZAK
Sticks to Ice

Blizzak
MZ-D2 Icegripper
Patented like multi-cell compound designed for heavy cars (import and domestic).

Blizzak
MZ-G1 Icegripper
Patented like multi-cell compound designed for heavy cars (import and domestic).

Blizzak
WS-S0 Winterbiter
Patented multi-cell compound for superior traction on ice, snow and dry roads.

Blizzak
LM-10 (M-sport variant)
Premium Winter tire specifically designed for high performance vehicles.

Blizzak
LM-22 (M-sport variant)
Premium Winter tire specifically designed for high performance vehicles.



年の瀬が迫った十二月の中旬、私はロスから二時間程車で走ったアルタロマという南カリフォルニアの町を訪れている。かつてはこのサンガブリエル山の麓に広がるアルタロマは、オレンジ、レモン、グレープフルーツ等の柑橘類の果樹園であったが、今は近くのオントリオ市の大発展で、そのスプロール化は避けられず、眼下に広がる空港、ハイウェイ、工場の建物に埋まった市街地とスモッグはここがロスの後背地であることを物語っている。

ハイウェイを出て、サンガブリエル山に真つ直ぐに伸びた上り道の住宅街の外れに私の訪問先である木工所がある。

目下、作者のサム・マルーフ氏が手掛けた数々の木製家具の陳列に魅入っている所だ。食堂用のテーブル、椅子、ロッキングチェア等々の作品はほとんどがウォルナット(クルミ材)を削り上げたもので、丹念な研磨後何回かニスが塗り込められて、更に磨き上げられた家具はその美しい木目がまさに目に飛び込んで来るようだ。

この木工所の一角にある展示室は一種のショールームの役割を果たしているけれど、作品の多くは作者のマルーフ氏が昔の購入客からわざわざ買い戻したもので、すべて非売品という所が少し変わっている。

何故、一介の日本人が遠いトロントからわざわざ南カリフォルニアの果樹園に来ているのかというと、六ヶ月ほど時計の針を戻さなければならぬ。

*

今年六月に長男がポストンの大学院を修了し、我々夫婦はその卒

某月某日

『皇帝の椅子』

半田宏治

業式に出かけたのである。卒業式は古今東西内容は似ているし、卒業生の家族も大勢祝いに駆けつけるので、さすがの広いキャンパスも超満員、午前中の卒業式だけでクタクタになってしまった。夕方の教授陣との懇談会まで午後がボカッと空いてしまい、息子の発案でポストン美術館を見に行くことにした。

ここは確か一昔前トロントからドライブ旅行がてら家族で立ち寄った記憶があり、特に日本、中国等の東洋美術のコレクションでは全米一と理解していた。今回もその秀逸な展示に圧倒される思いで、アツという間に午後も過ぎてしまった。

私はここ数年、年令相応に腰痛持ちとなり、今年は好きなゴルフもかなり控える程だ。多少太り気味なこと、クルマに頼りがちの歩行不足のせいで痛みは一向に改善しない。

美術館の床は固いコンクリートで、この上を長時間歩くことは腰痛持ちにとり、少々キツイ。中国美術の展示会をブラブラしている時だったが、突然、何がなんでも腰掛けたい衝動にかき立てられ、部屋の角に木製の椅子があるのを発見し、倒れ込むように着席したのである。次の瞬間、これはもしかしたら陳列物の一つかも知れず、ひよとしたら、そのガッチリした座り心地からいって、昔の中国皇帝の椅子だったかも知れないと、この浅ましい自分の行為に冷や汗をかく思いがした。しかし椅子の横の壁にプラスチックのサインがあつて、ちゃんと「着席可」と書いてある。

皇帝の椅子という妄想はともあれ、この椅子の座り心地は何とも表現のしようのない快適なものだつ

た。ウォルナット製の椅子はクッション性は全くないけれど、まるで自分の体の一部に合わせて作られたような絶妙な角度、着席部の微妙な曲線、正しい姿勢を補佐するヒジ掛け、バックレスト……五分も座っていたらどうか、この椅子のお陰で腰痛は完全に治癒してしまったのである。かなり重い椅子だったが、持ち上げてみると、椅子の裏にラベルが貼られ、サム・マルーフ製カリフォルニア アルタロマと書いてあった。私はトロントに帰ってから早速ポストン美術館に手紙を出し、サム・マルーフ氏の件で問い合わせしたのである。やがて美術館のアシスタント・キュレーターから返事があつた。

「貴方というマルーフ氏の家具の素晴らしさは当美術館も全く同感です。ただし問い合わせは下記住所の同氏の事務所へされたし。」

そして私は更にマルーフ氏に直接手紙を出すことにした。

「拝啓

この六月に私は機会があつてポストン美術館に行き、二階の中国展示場で貴職製の椅子を見つけました。私はここ数年腰痛持ちとなり、フワフワで腰のない椅子が大の苦手です。このウォルナットの椅子は見るからに座り心地が良く、実際博物館見学で疲れた腰がこの椅子に

座つて治癒してしまいました。この椅子が果たして製品として売り出されているか、美術館に問合わせても判りませんでした。もしカタログでもあれば御送付いただければ幸いです。敬具」

返事は二ヶ月も経つてから分厚い本と一緒に送られてきた。

「拝復

私は九月いっぱいアメリカ東部で展示会を催し、その一部をワシントン・スミソニアン・アートセンターに寄付したりして、つい最近まで留守にしていました。返事が遅れ申し訳ありません。私の作品に対する貴方の心暖まるコメントに感謝しています。最近過去五十年にわたる私の制作の集大成として写真集を出版しましたので、私のサインを入れて送らせていただきます。

サム・マルーフ

追伸 もし近くカリフォルニア方面にお出かけの際は、当スタジオに是非お立ち寄り下さい。いくつか作品をお見せできると思います。」

全く見えず知らずの異邦人に高価な本を贈ってもらい、非公式に招待されて、これは断る訳には行かないとカリフォルニア行きを即決したのである。

*

サム・マルーフさんは今年八十六才。レバノンから来た移民の八人兄弟の一人として、この村の近くで生まれた。学校時代からデザインには異能を発揮し、絵や木工が得意で、手先の器用さでは群を抜いていたらしい。しかし木工で暮らしていたらと思えず、近所の農機具メーカーの宣伝部に就職する。新製品の発表会などはマルーフさんの独壇場で、何でも自分でデザインしてしまふ。その展示の一つがある日カリフォルニアの有名な建築家の目に止まる。サムさんの現代風のデザインを取り入れた食堂の家具セットの制作を頼まれたのだ。

千載一遇のチャンスと考えたサムさんはさつさと会社勤めを辞めて、自分の貯金を使い果たして最高級のチーク材を奮発し、六ヶ月の後に納入する。建築家は自分が設計した家屋にふさわしい家具が入つて大喜びするのだが、肝心のオーナーはあの伝統的でケバケバしい家具を所望し、心ならずもキヤンセルとなつてしまった。同情した建築家が材料費として数百ドル払い戻してくれたけれども、チーク材の半分にもならなかつたとサムさんは笑う。その出戻りの家具の一部

(椅子)がこのショールームにおかれている。

秘書の人に恐る恐る「今はどのくらい価値があるのですか？」と尋ねたら、なんと一脚が二万ドルもすると云う。最早、家具というよりも芸術品といつてよい。それ程サムさんの名声は収集家の間で高いのだ。その一人がカルフォルニア出身のレーガン元大統領。特にロッキングチニアは大統領の特別のお気に入りらしい。

サムさんの家具は、食卓であれ椅子であれ、クギは一本たりとも使用しない。それにしてはどの家具もガタ一つないガツシリした構造だが、椅子で云えばアームと背もたれ、脚各々の接合部分にサムさんが考案した独自の接合技術が生かされ、外目にはどう組み合わされているか全くわからない。サムさんのムダのないシンプルかつ優雅で、使い易い家具は一見北欧家具に似ていなくもない。しかしそれを云われるのをサムさんは余り歓迎しない。「北欧の家具はビジネスなんだ。私もデザインを頼まれたことがある。デザイン料だけで十分食べていけるおいしい話だつたけれど、私は断つた。私はデザイナーであるよりも家具職人になりたいのさ。自分でデザインしたもの三ヶ月、半年も時間をかけて削り出し磨き上げて作

るのを何よりも喜びとしている。例えば、椅子は美しいものでありたい。けれども座り心地が悪ければ何の価値もない。すぐ壊れてしまえばただのジャンクさ。私のデザイン入りの家具は美しく、使い易くて長持ちしなければならぬ。私は職人で十分と思つている。」

*

この世の中、生産にしろ販売、はては通信技術の処理に至るまで「大量」であることが前提で物事が進行しているようだ。自動車、家電製品、パソコンと、例外を見つけないのが難しい。しかしサム・マルーフ氏の世界はそうした風潮に全く背を向けて、あくまで「手造り」にこだわり続けている。三人の若い見習が手伝っているとはいへ、年に納入できるのはせいぜい二百点が限界と聞いた。私が「皇帝の椅子」を入手するなんて全くの夢の又夢ということも判つた訳だが、このアルタロマでただただ「美しい家具」を作りたいの一心で、あくまで自分の良心に従つて美の美を追究し続けるサム・マルーフ氏の姿勢にこの訪問を機に強い同感を覚えた次第である。



アラスカの世界最長の犬橇レース アンカレッジ …… ノーム間

暗黒の厳寒の中1800キロを走る

辻本明子



ます。ノームを死滅から救ったその命がけの勇気を称え、マッシュャー・レオナルド・セバラはアイディタロットのゼツケン1とされ永久欠番になっています。また、リーダー犬バルトは銅像になってニューヨークのセントラルパークに飾られ、もう一頭のトーゴは剥製となってワシラのアイディタロット本部に保存されています。

三月の第一土曜日はアイディタロットのスタートです。いつもは静かなダウンタウンは世界中から集まったマッシュャーと犬、そして観客で溢れています。昨年の参加チームは八十一組、一チームは十六〜二十頭の犬で編成されています。ドックトラックの周りで出発を待つ犬は千五百頭近く、どの犬もトレーニングで引き締まった身体をしており、それはハスキー犬というより、無駄の無い美しさに縁取られた運動選手そのものです。

犬橇に積まれているのは寝袋、スノーシューズ、ドッグフード、プーティ(これは気温がマイナス三十度以下になると雪の結晶がガラスの粉のようになるため、犬の足を保護するソックスです)、斧(トレイルを塞ぐ倒れた木や焚火、凍った肉のために必要です)、

遙か天空から舞い降りた雪は白樺の枝に、ななかまどの赤い実にも、そして私の髪の毛の先にとまります。初雪です。いよいよ犬橇の季節が始まりました。

昔冬の交通手段だった犬橇はその役目をセスナやスノーモービルに譲り、現在はスポーツとし

て親しまれています。アラスカには世界最長の犬橇レースがありま す。アイディタロット(アンカレッジ・ノーム間)とユーコン・クエスト(フェアバンクス・ホワイトホース間)の二つです。いずれも暗黒の厳寒の地で千八百キロを走る過酷なレースです。これ等のトレイルは、アラスカがゴールドラッシュに

沸いた約百年前、犬橇使いの神様と呼ばれ極北の大地を縦横無尽に走り抜けた伝説のマッシュャー和田重次郎さんが開発したものです。アイディタロットの歴史は一九二四年ノームでジフテリアが発生し飛行機も飛べない猛吹雪の中、犬橇で血清を届けた事に由来し



それにノーム宛の郵便物(一九四〇年台まで犬橋で郵便を配達していた人たちに敬意を表するためチエッカーはタイムを記録します。獣医が犬達の健康状態やドッグフードを調べています。病気や疲れの激しい犬はリタイアし飛行機でアンカレッジに戻されます。ゴール時、槍に繋がれている犬が五頭

以上ないとそのチームは失格になります。

マツシャーはまず犬のブーティを脱がせ、わらを敷いて犬のベッドを作ります。それから氷に開けた穴から水を汲んでクッカーでお湯を沸かします。ドッグフードを温めたり器を消毒する為です。ドッグフードは水分の多いものや肉等三回与えられました。レース中、犬はあの小さな体で一万カロリーものエネルギーを消費するそうです。犬の足の裏や足首をチエックしたり、身体をマツサージしたり、マツシャーの仕事は煩雑を極めます。マイナス四十度の気温の中で悴んだ手は休むことなく働き続けます。六時間の休憩で四十五分休めれば良い方だと言うマツシャーの話も頷けます。足の裏にクリームを塗られた犬は気に入らないのか盛んに雪に足をこすり付けています。

アイディタロットを最初に完走した女性マツシャー、メアリー・シールズは犬に何度も命を助けられたと言います。凍結した川の薄いのです。色とりどりのブーティを履いた犬たちは可愛らしく、大歓声の中、マツシャーもにこやかに手を振って和やかなスタートです。

スタートを見送った私は二日後このレースを空から観戦するためセスナに乗り込みました。空から眺めるアラスカの大地は白一色の静寂の世界です。数ヶ月前まであれ程生命に溢れていた緑の大地は今ほとんどが厚い雪に覆われ、流れを止めた川や湖が氷に閉ざされています。ナイフで削った様な白い山の稜線まで青い空に凍りついたかの様です。荒々しく淋しい風景がどこまでも続き、生命を拒絶するかの様な緊迫した様子に押しつぶされそうな孤独を感じます。

パイロットが犬橋チームを見つけてきました。大雪原に針のように突き刺さった針葉樹の林を抜けて懸命に走る犬達が見えます。力強く雪を蹴るマツシャーの姿も見えます。それにしても限り無く広がる大自然の中で彼等は何と小さな存在なのでしょう。

セスナはフィンガレイクに着陸しました。ここは二十六ヶ所あるチエックポイントの一つです。既に数組のチームが休憩しています。新しいチームが入って来ると、い氷の上を渡ろうとした時や、ホワイトアウトの中に取り残され自らの死を覚悟した時、リーダー犬

に助けられたそうです。それ以来メアリーは凍結した川の上では全てをリーダー犬に委ねました。リーダー犬は経験や臭いによってチームを安全へと導いてくれると語ってくれました。

また現在一番人気の高いマツシャー、アイディ・ジョンローはムースに襲われた時、犬達に助けられています。反対にマツシャーが命がけで犬を救った話も聞きます。迷子になった犬を猛吹雪の中何日もかけて救い出したり、負傷した犬達を抱いて何往復もしながらチエックポイントまで歩いたマツシャーもいます。極北の凄まじい極限状況の中でマツシャーと犬はぎりぎりの所でお互いの命を託しあつた同志なのでしょう。

休憩を終えたチームがチエックポイントを出発していきます。犬達は張り切って雪煙を上げながら遙かアラスカ山脈へと続く大雪原を走って行きます。そのしなやかなで力強い筋肉の動きがはつきりと見て取れます。あの小さな足で想像を絶する厳寒の中、三つの山脈を越え、無数の谷を渡り、凍結した川や入江を横切り、ブリザードの中ノームまで走り抜くのかと

思うと胸が詰まります。人間の役に立つことを喜びとし、人間の心に寄り添うことの出来る犬達、彼等は自らの息が白く凍りつき雪だるまの様なアラスカの荒野を走り抜けるのです。無事を祈って見送る私を凍った空気が肺をキリキリと刺してきます。

日本人では舟津圭三さんがアイディタロット、ユーコン・クレスト、ペアグリーズ(ミネソタ)全てのレースで新人賞を受賞しています。舟津さんは一九九〇年六カ国(米仏ソ中英日)六人の国際隊の一員として南極大陸を犬橇で横断するという世界初の探検に成功した方です。

ナショナル・ジオグラフィック「EXPEDITIONS ATLAS」には吹雪の中、雪まみれになって昼食を取る舟津さんの写真が表紙を飾っています。この他にも数多くの冒険に成功していますが、自らがその輝かしい前歴を口にされる事はありません。「自分のことを冒険家と思つた事は一度も無いんです」とはかむ様に笑うだけです。トウヒや白樺の林に縁取られたレーシング・ケネル「シルバークラウド」で三六匹の犬達と暮らす舟津夫妻は汚れを知らないアラスカの風の様によく爽やかです。

それにしてもアラスカにはどうしてこの様な手ごたえのあるスケールの大きな人が多いのでしょうか。そのような人達がアラスカを選んで移り住むのでしょうか。それともアラスカの自然がそのような人を育てるのでしょうか。

春の始まりを感じさせるある日、私も初めて犬橇に挑戦してみました。初心者の私はコントロールのしやすい四頭曳きです。橇は思いがけないスピードで走り出しました。細い雪のトレイルは林を縫つて日向の道と日陰の道がどこまでも続いています。

重層な防寒具の下で緊張に身を固め、橇の取っ手にしがみついている私が心配なのか犬は時々後ろを振り向いて何か言いたそうな目をします。凍結した川の上ではどんなにブレーキをかけても橇は大きく左右に振れます。曲がり角での体重移動がなかなか上手に行きません。でもよく訓練された心優しい犬達は私を橇から振り落とす事はしませんでした。なだらかな丘をいくつか越える頃、恐怖心はすっかり消えていました。犬達は喉が渇くのか走りながら時々雪を食べています。止まる度に頭を雪の中に突っ込む犬もいます。

橇の軋む音と犬達の息遣いの他は何も聞こえません。足に感じるアラスカの大地の感触が新鮮です。冷たい風がほてった顔にそっと触つて通り過ぎて行きます。葉を失くした白樺の木のでっぺんに白頭鷲がまるで置物の様にとまっています。青く染まりそうな空と無垢な白い雪、世界は青と白にまぶしく輝いています。スノーモービルに乗ったり、クロスカントリースキーをした時とは明らかに違う世界がそこにはありました。見慣れたはずの風景が突然意味をもつて鮮やかに心を満たしていきます。山も木も風さえも全てが自分にとっても近いのです。それらの息遣いが聞こえてくるような気がします。それは犬達の存在、手を伸ばせば触れることの出来る、温かい生命のぬくもりがあるからです。自分が犬と一体になって、このアラスカの自然に受け入れられているという喜び、私は叫び出したような解放感を感じていました。この平和で優しい時間がいつまでも終わらないように、限りなく広がる極北の雪原をどこまでも走ってほしい。太古の時を秘めたあの氷河まで「ハイク(進め)」私は犬達に声をかけました。

裏千家トント教室

新 宗楓

8 Dallington Drive

Willowdale, Ontario

M2A 2G3

(416) 493 - 6776

JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール & クリステンセン美容室



美容一般、着付、エステ

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St. Unit 207, Toronto

(地下鉄 Bay 駅下車、Bellair 出口すぐ)

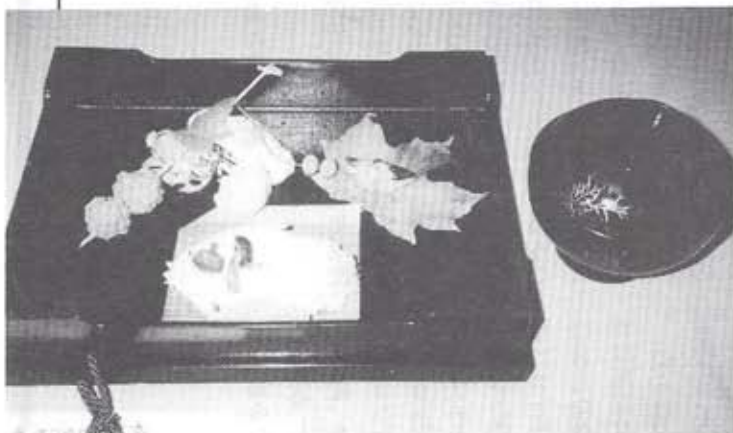
裏千家トロント支部
お茶会点描

2001年10月21日

ウェスティン・プリンスホテルにて



ご亭主のお点前拝見



当日の点心のお献立 (懐石遊膳 橋本)
八寸は磯部巻丕子、烏丸生姜煮、银杏松葉串、
金團茶巾絞り、蛇籠蓮根白和え射込み、紅葉人参香梅煮
焼物は銀鱈西京焼き、御飯は耳御飯、
お椀は飛竜頭薄仕立て



新宗楓先生(右)と
勝谷由美子先生



今年のお茶会お当番の馬場
かず子先生が輪島塗の水差し
について説明。塗り物の水
差しは珍しい。

郷にいれば郷に従え

インドネシア語の

「ハルース」と

「カツサール」

「ほら、郷には入れば郷に従え」
て言うじゃない。」

もう十年前も前、インドネシア中央銀行総裁のモーイさんが私に言った。あのパーティーでのことだ。

この国では、ものごとを、そういう風に直線的には言わないで、もつと婉曲的に優雅に言うのね。」

すると元工業エネルギー大臣のサドリさんが両手を滑らかにくねらせながら、「こういう具合に」と。

二人のお偉方の笑いながらの説明について私も笑い出して、「こういう様に、ですか」と両手をくねらせた。

「でも、パパ（パパはミスターの尊敬語）モーイ、それはそうと、さっきの件、結局どうなんでしょうか？」

とたんにモーイさん「ほら、又そんな風に聞く。」

☆「ノー」を言わない文化

ジャワの歴史は古く、その文化は洗練に洗練を重ねた独特なものとなつた。自分の思っていることや希望をそのまま相手にぶつけることは粗野な行為、紳士のすべきことではないとされ、相手に対して「ノー」などということなどもつての他、大変な失礼に当たる。とにかくノーはありえない、すべてイエスという具合に答える。

相手が紳士ならこのイエスの答えの中からノーのニコアンスを汲み取ることが出来るはずだというわけだ。これを汲み取れない奴は野暮で軽蔑すべき人間であり、相手にすべき輩ではないということになる。この辺は一寸、京都、関西のところがあつた。（関東育ちの私が大阪に転動した当初、考えときまひよをその通りにとつて失敗したことがあつた。）考えておく、は婉曲な否定であつたのだ。）

この優雅な流儀で困るのは、道を聞くときだ。「知らない」とは絶対に言わないのである。初めて行く場所まで道に迷い運転手が道を聞くのだが、相手は

実は知らなくとも適当に答えるから、行つたり、来たりすることになる。

一度、あるビルのしかるべき階で降りてそこにいた係りに一方の方向を指して「会計事務所はこちらですか」と聞いたら「そうだ」との返事。結果はまるで違つて反対方向が正解であつた。「違う」などと相手を否定するようなことは言えなかつたのであろう。もつともこれは極端な例であるが。

彼らは、粗野なことは「カツサール」と言つて大変軽蔑するし、直接自分の希望などを口にするのは粗野なのである。これに対して、洗練されていることを「ハルース」と言つて尊敬する。むやみに威張るのは「ソンプン」といい軽蔑される。どんな場合にも感情は抑え、あくまで微笑を浮かべ、平静に対応するのがハルースで、これをよしとする訳である。

だからニコニコ対応しているから、満足してくれているかという時には大違ひ。そのニコニコの中から不満な点を察知し、それへの心配りをすることを求められるのである。これくらい遠慮してある人たちであることを理解しないと大変なことになる。

日本人の中には戦前のマンガ「冒険ダン吉」のイメージでこの国の人を見る人間がまだいる。「この国の連中ときたら、上は大統領から下は女中まで総て金を求める」などと知つたかぶりに口走る人がいるが、これほどこの国の人を理解せず、侮辱した話はない。もともとこの国には欧米人が持ち込むまではチップの習慣はなかつたのである。チップは感謝の気持ちであつて、生きる者で金を放るようなことが好まれるはずもない。感謝の気持ちのないチップなど有り難がるわけではないのだ。これだけ細やかな神経の人たちだ。侮辱は禁物である。

☆我慢の限界を越えた「アモック」

さて、いつもニコニコと微笑を浮かべている人たちであるが、ある一定限度を越えると、耐えられなくなる。要は我慢に我慢を重ねたが、もう我慢できませんというわけだ。そして遂に爆発する。そうなるかと打つて変わつて激情的になる。

ゴルフ場のキャディーを侮辱した、あるいは手を下した外国人がいた。そ

うしたらそのキャディーは暫くして鎌を何処からともなく持つてきて、切りつけてきた、といった話を聞いたことがある。(この国の鎌は三日月型の外側に鋭い刃がある、見るからに恐ろしいものである。)

また、政府官庁で日本人が議論に熱中して相手の権限を越える法外な要求をしたら、それまでニコニコ対応していたその役人が、血相を変え、目が三角に血走り、「そんなことは出来ない!」と怒鳴ったそうだ。信じられない恐ろしい形相だったそうだ。

スハルト政権崩壊時、群衆が暴発していくつかの痛ましい事件が発生した。それは普段の彼らからは想像できない凶暴なものであったと聞く。マレー、インドネシア系の人がこのような状態になったことをアモックといい、恐れられている。

ある日系企業の従業員が現地の若いインドネシア人を可愛がっていた。その企業の事情でそのインドネシア人を解雇せざるを得なくなった。解雇されたその若いインドネシア人は、自分が裏切られた上侮辱されたと思い、かつて可愛がってくれたその日本人が寝ているときに襲い、首を切断して殺したそうである。もう何十年前の話であるが、(余談になるが、そこに立ち会った人によると、最後に彼が言った言葉は、「寒い」という言葉であった。)

☆ハルースな人々とハッピーな毎日

異なる国には異なる文化、習慣があること。どの国の人間も誇り高い人であること。異なる国の人と付き合うときは、独りよがりにならないこと。どの国の人に対しても、痛みを思いやること。異国の人のために自分のベストをつくすこと。など、など異国で暮らすときに心すべきことは多い。

カッサールではなくハルースに徹しな

ければならない。今回の仕事では、ほとんど毎日、周囲をこの国の人たちだけに囲まれて過ごしたが、ハルースな人たちに囲まれていたお陰で、我が人生で最良、最も充実した楽しい日々を送ることが出来、本当にハッピーであった。

ところで、インドネシアを知って十年以上経った今の私であるが、少しはカッサールではなくなったのかも知れない。とにかく私の言葉に目を血走らせるイ

ンドネシア人に会う経験はなかったのだから。

そうだとするとこのきつかけは、あのパーティーでの忠告のおかげかも知れない。尤も、今でもお付き合いのある、モーイさん、サドリさんに「私、カッサールではないですよ」などとお聞きすることはこの法度であることは言うまでもない。(前インドネシア中央銀行、輸出銀行特別顧問)

SHARP

Liquid crystal television AQUOS™



be spirited



Enjoy superior picture performance anywhere with the ultra-thin space-saving design only LCD delivers. Sharp's Proprietary Black TFT panels equipped with the Advanced Edge-Light System increase contrast and image clarity, and are quite simply brilliant - enough to be positioned in high-glare locations. Horizontal and vertical viewing angles up to 160°. AQUOS LCD Television line is now available in Canada with display sizes ranging from 10 - 28 inches. AQUOS TV ultra-thin, ultra-sharp, just what you would expect from the world leader in LCD technology.

www.sharp.ca

be sharp™

『せし、』

『おこねのちやう！』

城倉貞子さんの六年間

かじはらゆか



October 21, 1947 - January 2, 2002

「もしもし、わたくしよ。貞子です。まあ別に用事はないんだけどね」と留守電の声。過去六年間、わたしと城倉貞子さんは、毎日のように電話でおしゃべりしていた仲である。ひ

とまわりちやうと年上の貞子さんは、わたしにとつては、「冗談を言い合うお姉さんであり、時には、いたわつてくれるお母さんのような存在だった。」

貞子さんと知り合ったのは、九五年初秋のこと。同年十一月、貞子さんは右胸にできていた腫瘍の外科的な細胞診断をうけることになった。わたしに「バイバイ」と手をふりつつ手術室へ入つて行く小柄な貞子さんの姿が、今も目に焼きついている。

診断の結果は乳がん。そのまま腫瘍摘出手術となった。夕方、病室に三人のお子さん達が姿を見せた。まだ八つのお子さんが小声で、「ママ、ガンなの？ ガンなの？」と貞子さんに尋ねた。ベッドの側にいながら、わたしの膝はがくがくと震えていた。

貞子さんはいつもニコニコしていて、とっても前向きだった。「誰かの役にたつかもしれない」と自身の体験を書き始めた。下書きの原稿は、まず、電子メールでわたしの手元に届く。にわか編集者きどりのわたしは、「ここはわかりにくいから、薬事療法とか説明つけるね」などと、あれこれ貞子さんの執筆活動に関わった。ペンネームは、「魔の夜の時を過ごした」という体験からもしつて「魔夜時子」。それでは字面が悪いので

「真矢ときき」と相成った。

貞子さんは、病院の図書館や乳がんサポートグループ、薬剤師や乳がん体験者宅など様々な場所を訪ね、最新の使える情報を集めた。体験記が日系新聞や季刊誌「オーロラ」に掲載されるや、二十代から七十代の乳がん体験者から連絡がはいつた。そうして、トロントの日系社会にも乳がんと共に生きている女性何人もいることがわかった。皆さん、ひっそり隠れて悩んでいたという。

九七年夏にはキングストンで開催された「第一回世界乳がん会議」にて「カナダ移住者としての乳がん体験」と題し、堂々と英語でスピーチを行った。「沈黙は美德」の日本文化を背景にもつ患者が、北米社会にて意思表示しながら適切な治療を受ける難しさを紹介。注目された貞子さんはカナダの新聞社にインタビューされた。

九九年の再発後も執筆の手を休めず、社民党の新聞「社会新報」にも連載し続けた。原稿料が届く度に「お世話になったから一緒にランチ食べようよ」と誘ってくれた。抗癌剤の副作用で大変な時にも、他の乳がん患者を見舞い、いつも相談相手になっていた。貞子さんは、社会的に弱い立場にいる女性や子どもたちの福利に関心が深く、正義感に溢れていた。

世の中、腹のたつことが多い。そんなことを話すとき、ちよつとひょうきんな声で「もう、怒れつちやう」と言うのが口癖だった。英国からコスメディアンのミスター・ピーンがイートンズにやつて来た時、ふたりで見に行つて、きやあきやあと女学生のように喜びあつた。その後、ミスター・ピーンのデビューの縫いぐるみをプレゼントしたら、「うつわあ」と大歓声。病院に付添つて行く度に「ゆかちゃんがお姉さんみたい」と頼ってくれた貞子さん。

二〇〇一年夏には脳腫瘍の摘出手術を受けた。その頃には、既に肺にも転移していた。最後に病室で会つたとき、貞子さんはフェルトペンを持って紙にひとこと記した。震えるひらがなの文字はこう読めた！「おこねのちやう」。

二〇〇二年一月二日の夜、貞子さんは静かに息をひきとつた。大切な貞子さんがいなくなつて「おこねのちやう」のは、わたしを含め、そうして誰よりも御遺族のみなさまだろ

う。

貞子さん、六年間のあたたかい友情をほんとにありがとう。心から御冥福をお祈り致します。(写真はありし日の貞子さんと愛犬トモ)

貞子さんの乳がん体験記サイト

<http://achieve.utoronto.ca/sadakof/>

名前の散歩道



事故に遭う名前・雑感

月華麗

ニューヨークの世界貿易センタービルがイスラム過激派のテロ攻撃を受けて崩壊した。あれから三カ月が過ぎようとしているが、いまだにショックが尾を引いている。識者の方々のご意見には一つ一つ頷かされるものがあるし、犠牲になられた方々やご家族の不幸には、ただひたすらこころをたれるしかない。ああいう大量殺戮ともいえる事件が起きると、占いなどは何の役にも立たないのか、とますます心が塞ぐ毎日である。天変地異、戦争、大事故など、一個人の力ではどうしようもない大きな運命のうねりの中では、個人の運など嵐に吹かれる木の葉のようなものなのかも知れない。これは占いを学ぶものにとつては課題のひとつでもあり、全体と個人との運命の交錯には深い秘密が隠されているようだ。

テロ事件をきっかけに、十五年ほど前の航空機事故を思い出してい

る。日航ジャンボ機が三十分間に及ぶダッチロール飛行のあと、群馬県の御巣鷹山に墜落し、四人が重傷、あとの五百二十人全員が死亡した。今はもう時効として、心ならずも話題にさせて頂く。当時ちょうど姓名判断を学び始めたころで、新聞記事を参考にすべての犠牲者の姓名をひそかに調べさせて頂いた。結果はその全員に「事故、怪我、手術の暗示」が読み取れたという記憶がある。この確率の高さはどういうことか。あまりのショックに慄然として、落ち込んで、その後しばらく、姓名判断をするのが嫌になってしまった時期があった。現在になんの問題もないのに事故の可能性を秘めている人達が、ごく近くにも結構いると気付いたから・・・。

人生には問題がつきもので、苦勞や災難もある。それでも人が幸福になるには、それをどう受け止めるか、そしてもしも災難を防げるとすればどうすれば良いのか。充分に納得できる答えは未だ出せないが、事故の暗示がある名前を持つ人でも、何かのお護りがあつてか天寿をまっとうされる人もあり、そう悲観したものでないというのが、あれから十五年後の結論である。

一般に事故数といわれる画数がある。九、十、十九、二十三、二十

八、三十一、三十三、などで、この中には世に出る成功運の吉数も含まれている。たとえ成功はしても事故の危険からは免れないということだ。その上、事故数はなく吉数ばかりなのに事故の条件に合った名前もあるのだから、運命の女神は単純ではない。たとえば、「山」「川」「大」「小」が姓にある人と結婚した女性の名に「子」がついていると、何かと問題が多い。事故死とまでは行かなくても、手術、怪我などが起こりやすく、本人も神経質になったり鬱になったりして精神的な安定を欠きやすい。また、夫を凌ぐほど強くなつて一家を支えることもある。苦勞が限度を越えているなら「子」のつかない名に変えた方が良さだろう。

けは良く、よく動き回る人です。健康的な欲望も強く、考え方は現実的です。義理人情や道徳理念に欠けると、色と欲で身を誤る危険があります。

（二月生まれ）

言葉は少なく、辛抱強く、外見は陰気に見えても内心は陽気で、押し強さがあります。あまり感情を表に出さないので、この人の考えていることが他人には理解しにくいことが多いです。自分なりの人生観を持つていて、納得できないことはしませんが、物事を実行するときには、すべてに確実性があり慎重です。

（二月生まれ）

竹を割ったようにさっぱりとした人で、泣き言を言わず、表面が悪く見えても悪意はありません。進取の気性があり積極的で、計画を立てるときは大きなことを好み、またその才能もあります。しかし説明には言葉足らずになりやすく、がさつな面もあるので誤解されやすい。目上に逆らわなければ相当な成功があります。

新年早々、縁起でもない話題で申し訳ありませんでした。では、「生まれ月による性格判断」の冬季です。

（十二月生まれ）

経済観念があつて、利殖や蓄財の能力に優れています。ただし、目の利益にこだわりやすいので大極を見誤ることが大切です。世間の受

*各種占い、姓名判断をご希望の方は左記までご連絡下さい。

6 Orser Drive, Midhurst, Ontario
L0L 1X1 Fax: 705-737-0921
Kasen Sasaki

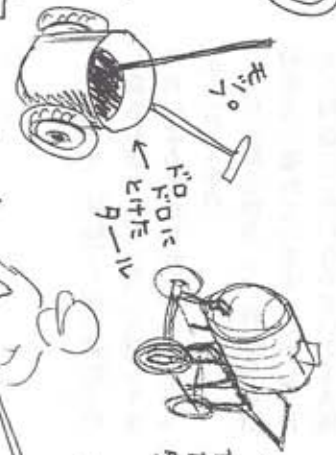
ハミングバードセンター

屋根の上のスズメ

●オキーツセンターからハミングバードセンターに名前が変って
 おもしろいパターンスズメが
 たくさんあるよ。スズメの屋根の上で
 演じられました。これはその時の様子を
 写したものです。

出演 ● 6人のオキーツ
 風、まじろ音
 照明 ● たいようこ
 効果 ● 雨、あかい空

★ One of the year's BEST ★
 Rolling Rock

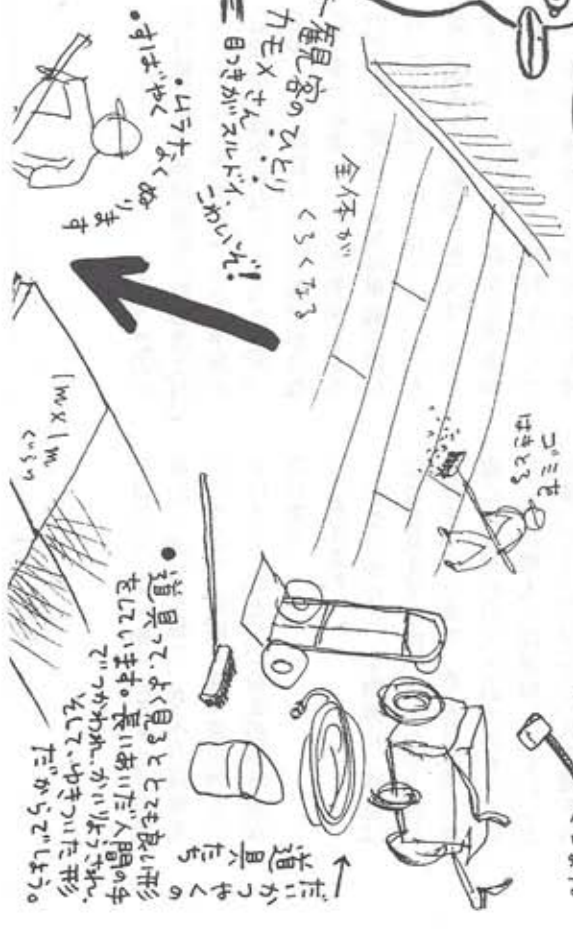


●タールはかたまりは「防水」のゆめを
 するわけだけけれど、こうしてこの作
 業を見てると、タールは接着剤とこの
 役目もいろいろある。
 タールのタールです。
 タールはかたまりは「防水」のゆめを
 するわけだけけれど、こうしてこの作
 業を見てると、タールは接着剤とこの
 役目もいろいろある。
 タールのタールです。

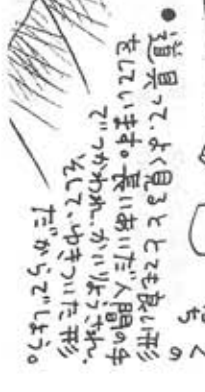
「ハミング
 鳥」の
 タール
 タール
 タール



●タールはかたまりは「防水」のゆめを
 するわけだけけれど、こうしてこの作
 業を見てると、タールは接着剤とこの
 役目もいろいろある。
 タールのタールです。
 タールはかたまりは「防水」のゆめを
 するわけだけけれど、こうしてこの作
 業を見てると、タールは接着剤とこの
 役目もいろいろある。
 タールのタールです。



●道具は、よく見るととてよい良し形
 をしています。長い長い人間の手
 でつくりだされ、かたい木や
 鉄でつくりだされた「から」は、
 道具たち



ランチタイム

12時になると6人の
アパーはランチをとり
ます。みんなと一緒
にアパーにするこ
はみごと。
これをしは11の
えんせだまの...?



あ、雨だ!

屋根客は10センチカタズをのんだ。
しかし、10アパーズ(作業)は一糸のあたれも
見せず、おごそかにつづられたの
だった。こいつ時を日ごろの練習の
成果が出る
だろ。



しごきだんじり
6人のうち3人は本場に4人が
なく、その日予定が終ると
5人づつをきわめた現場は
あつといまにきれいに
あつといまにきれいに
あつといまにきれいに



客席のこえ
「ヤー
みんな良く働いた
おつ、おつ、えんせ
うまいナ」



このように数日間つづいた10アパーズは無事に
おわりました。6人のアパーと沢山の道具がきえてしま
たアパー(屋根の上)には大層な雪がさかすかと
11ツヒコ-エント。

上下の作業はアパー
がかわるうちは
おこわあ
また
アパーか
また
アパーか
また
アパーか



お目出たいことにお正月早々、ハワイに行つて来た。スツタモンダは多少あつたが、そこそ楽しい家族旅行であつた。

今までどいへ行くにも私と子供三人だけであつたが、今回は初めて夫も仲間入りし、多分最初で最後の本格的な家族旅行ではなかつたかなと思う。大體一週間も朝から晩まで、ああ言えば二倍こつ言う夫と、何考えているんだか(何も考えてない)分らない三人のティーンエイジャーと一緒に、よくもまあ大ゲンカもせず無事に帰つてこられたなと、奇跡以外の何ものでもない、胸をなで下ろしているところである。これもひとえに私の心の寛大さと強靱な忍耐力と細かなことは半分聞き流す優れた特殊技術のためものだったと思わずにはいられない。ということにしておきましょう。

それにしても日本人だらけである。どの路地に入つても必ず出くわす。「お魚と一緒に泳ぎましょう」といううたい文句のある？ハナウマ湾からの婦りの路線バス(大人一ドル、十八歳以下五十セント)など全員日本人でなんでもアウンズが英語なのか不思議な感じだつた。

日本レストランもラーメン屋さんもあちこちにあるし、ショッピングだつて看板には公用語よろしく日本語で書いてあり、そこいらのコンビニの店員さん

だつて片言日本語を話す。これなら英語に免疫のない地方のおじさん、おばさんも困らずに買い物できるはずだ。向こうもちよつと片言話しただけで品物をどつさり買つてくれるのだから、一枚上手なのだが。

インターナショナルマーケットの屋台風のお土産屋さんなど、ちよつと品物に手が触れただけでスツと寄つてきて「安いヨ、安いヨ、持つていつて」とセールスがかつてかえつて引いてしまう。私は「ハイ、そうですか」だけですく次



杉本花粉

あ〜あ〜憧れの ハワイ空路



に移れるが(もつともフトコロが立ち止まらせてくれないのもあるが)大體の日本人さんは、誰かしらにお土産を持つて帰らなければならぬという習慣があるため、言われなくても自分からエジキになつていく。そばで耳をそばだてていると(そばだてるな!)二人のおばさん達に「これ本物、日本じゃ高く買ってえない」とか「嫁に買つたら喜ぶヨ」とか「二つ買つたら一つまけとくよ」と金のネックレスを手取り足取り持ち上げてセールスする。なんで金のネックレスの三つめがタダなんだ。本物だつたら負けれないでしょうがア。それに一人が買うともう一人もたいがい連鎖反応で買う。見ていたけどホントに見ちゃいられない。

茶髪の若い女の子達がなんでプラダのバッグなんか手にとつて見ているんだ。まさか買うんじゃないとは思うが、近頃の若い子は見ただけで勝負に出るから恐い。そういう私も若かりし頃は食べる物も食わずにフエンディの財布にヴィトンのバッグをいい気持ちで持っていたこともあつたが、いつしかそういうものに縁遠くさせられ、気が付けばイートンのスタ布袋を手に提げていた。子供が三人もいれば誰かしらヤレ靴に穴が開いただの、ジャケットがつんつるてんになつただの CAP の服が欲しいだので、必然的に自分にまで手が回らなくなつてくる。子供が小さい時は ZELLERS や BIWAY で十分間に合つ

ていたのだが、もうそういうビニール袋を下げていただけで一緒に歩いてくれない。もうシャネルもヴィトンも遠い存在となつてしまった。中村うさぎやハイヒールも何がどうして高いだけのああいふものを欲しがるか理解できない。私もヘンに年をとりすぎた。

俗悪な話になつてしまった。自然界に移ろう。ハワイはなんといつても海である。私は山に囲まれたところで生まれ育つたので、どうしても海という響きには憧れてしまう。ダイヤモンドヘッドを左手にし、夫には店番をしてもらい、私と子供達は二・九九ドルのビニールマットにしがみつきながら、思う存分海水浴を楽しんだ。海に飽きると知らんぶりしてよそのホテルのジャクジーにばかり、よそのホテルのプールに入つたりとおばさんにならなければ出来ないこともちよつとした。

サブマリンで海底に潜ると、平目に筋をつけたような魚をウヨウヨ見ることまでできたし、大きくなくて不満だったがサメも亀も見た。沈没船の回りには群れをなしている小魚が多種いた。この沈没船というのがサブマリン会社が一ドルで買つて二万ドルでオイルとか細かな装飾を取り外し、わざと沈めた代物とかで、いやはや全くの人工沈没船なのである。

サブマリンの次はダイナー付きサンセットクルーズに乗つた。全くこれもい

やはやで、木の葉舟とも呼ぶのがふさわしく、センターアイランドに行くトロントの船の方が遙かに大きく素晴らしい。乗船時間二時間半のうち最初の三十分は何とかもつたが、後はゲロゲロで娘も次男も一口も食事を取らずぐにベンチに横になり、高いお金(一人US三十五ドル)を出して揺れのガマ大会もないもんだとかなり後悔した。パンフレットのタイトルに決して釣られてはならない。夫と長男は皿に山盛りごはんを取ってきてムシヤムシヤやつていた。おまけにウエイトレスがにわかフラダンスに早替わりして腰を振り出すと、鼻の下を伸ばして手拍子など打ったりしていた。

翌日も海関係行程に徹した。一時間一本のハナウマビーチ行きのバスを待っていると、タクシーの運転手が「タクシーに乗った方が早いし、バスは今行つたばかりでなかなか来ないし、満員だヨ」などと英語でくちやくちや言う。一人五ドルだそうで、冗談も休み休み言え。バスなら五人で三ドル五セントで行けるのに何で二十五ドルも払わなければならないんだ。渋っていると次に四ドルでいいと言う。まだ高いと言うと三ドル五セントでいいと言う。それならいいかなとうすら汚れて汚いが一応リムジンなので許してあげた。私達だけかと思つたら「ちよつと待ってくれ」と言つて、又誰れ彼かれに交渉

し、もう一家族連れて来て相乗りとなつた。リムジンなのにギューギュー詰められ暑苦しいつたらなかつた。

三十分もするとハナウマビーチに着いた。湾内の水の色が珊瑚礁の所は暗く、ところどころ水色や緑色があつたりと眺めているだけで飽きない。レンタルの六ドルのスノーケルにデポジット三十ドルを取られた。二つ分だから大した金額になつてしまふ。(だから行く前にコンビニで五・九九ドルのを買おうと言つたのに、そういうことを夫と十五分間口論したりして。)

ここでもピールマットは大活躍し、トドさながら体を横たわらせ、顔だけ海中に突っ込んで放浪しながら目の前を泳ぐ色とりどりの熱帯魚を背中が日焼けするのしかまわず見とれていった。いたる所珊瑚礁の岩が突き出ているので、泳ぐことも歩くことも出来ない。夫はまたも砂浜で店番をしてくれた。もし私と子供三人の旅ならきつとその役は私だろうに、夫がアウトドア派とは無関係でまるでスポーツマンタイプではない性格なので、この時は本当に感謝ものであつた。

ハワイに来てポリネシア文化センターに行かない人はいないと路地裏の寂れた小さな旅行社の中国人に言われ、そこにも出かけた。言われた時間にホテル(隣の)で待っていると、ジャーとクーラーがバリバリ効いてそんな大型バ

スが横付けになつた。当然乗り込もうとしたら「お宅達は違ふ。そのうち来るでしょう。」と言われた。一分も待たないうちに予感通り、影のようなスクーアルバスよりも小さい二十人乗りくらいな椅子、フロントガラスの上には「チップはドライバーの命」みたいな張り紙をマスキングテープで止めてある。何とも値段に見合つたバスである。

例のピカピカ大型バスは日本人の団体さんが行列をなして乗り込んでゆくと口もきかず座つている。日本人はゴリでいいなと誰の顔にも書いてあつた。私つていつもなぜかこういうのが多い。期待の後には必ず落胆がつきまとう。

ポリネシアショーはやはり商業化されてきた。時間通り行動しないと見逃してしまふ。サモアとトンガのパビリオンではほとんどトークショーといった感じで大笑いした。観客から日本人のおじさんを一人ピックアップし、ステージに上げてしまふ。日本ではもしかして部長とか社長さんかも知れない年令の人が、ここでは英語の解らないただの人である。必死にやりとりしているのだがそうすればするほど笑いの種で、いよいよ振り回されコケにされ、笑い者にされる。おじさんも旅の恥はかき捨てとスター気分で大乗りなのだ、同国人としては変な気分であつた。

センターの締めくくりは大ホールでのフラや火回しなどであるが、スタンダードで格安チケットのツケがここにも表れ、後列から五列目という席で、全体を見回すには申し分ないが、何しろよく見えない。インターミッションでは前列の人までは、パイナップルをくり抜いた中にアイスクリームを入れたデザートが振る舞われたが、こちらの二十一名はそれもない。ちなみにパツフェ料理の内容も違ふらしく、メインホールに行くときあなた達は隣です。」とか言われた。本当にあの中国人旅行社の人は私達五人を見た目で全て大安のツアーに繰り込んで下さつて何と感謝してよいやら。あと十ドルくらいずつなら出せたのに。次回はJTBとかJALカウンターで申し込んでみようと思ふ。次回があればの話だが。

そういうオチは多々あつたが、ハワイの自然は裏切らず素晴らしかつた。自由行動ばかりなのに毎日やることがあつて、それに三度の食事も捜さなければならぬし、とても忙しかつた。あつという間の六泊で、トロントに帰つたら又雪かきかと思うと仕度が皆のろろだつた。とりあえず、めでたしめでたし。

PS 撮り終えたフィルムをホテルのたんのすの引き出しの中に置き土産として残しておくのも忘れてはいなかつた。トホホ



不老長寿の薬を探して

その十七

鍼灸応用編

後藤順子 (RNCP)

休日や夜中に限ってよく起こる急な発熱や頭痛。風邪を引いて鼻が詰まって苦しい。慢性の腰痛や肩こりで眠れない。夜間に救急車を呼んだり、病院にゆく程悪くはないが、苦しいので、今すぐなんとかしたい。こんな時、薬を使わずに中国医学の鍼灸の応用で、家庭でも簡単に治療できる方法をご紹介します。



【鍼治療】

(用意する物)

- 鍼(長さ1.5〜2.0cm直径2.2〜0.26mmで一本ずつ筒に入っている、使い捨てタイプのステンレス鍼)
- アルコール消毒綿、綿棒。
- 使用済み鍼を入れるプラスチックの入れ物。

(鍼の手順)

- 一、手を石鹸で洗った後75%のアルコール綿で消毒。
- 二、使用する鍼を選び、パッケージを開ける。
- 三、鍼をするポイントを決め、アルコール綿で皮膚を拭く。
- 四、再度自分の手を新しいアルコール綿で消毒。
- 五、筒の先にあるストッパーをはずし、左手で、挿入管を支えて、右手のひとさし指で鍼の頭を軽く叩き、皮膚に鍼がさつたのを確認して、筒をはずし、挿入所定の深さまで、鍼を挿入する。
- 六、約二十分間放置後、乾いた、綿棒を皮膚に当てて、鍼を抜く。
- 七、使用後の鍼を専用のプラスチックの入れ物にする。

頭痛(前頭部)

- ▽印堂(両眉毛の中心点)鍼を十度位の角度で、鍼をさし、周りの皮膚を眉間に沿って左手で摘み右手で、五mm位鍼先を下方に向けてへ挿入。
- ▽太陽(こめかみから目じりに指をすべらせ、一番くぼんでいる所)鍼を皮膚面に垂直に刺し、二〜三mm挿入。反対側も同様にする。
- ▽痛点(頭皮の痛みのある場所があれば同様にする。)

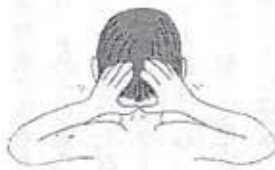
太陽 風池



鍼を刺した時は、ちくつとした痛みはありますが、ほとんど痛みはなく、鍼をするとすく、眠たくなって、鍼を刺し終わった時には、痛みは完全に消えています。

頭痛(後頭部)

- ▽風池(耳の後、髪の毛の生え際で、頭を支える僧帽筋の外縁にある。)反対側の目じりに鍼先を向けて、五mm位挿入する。難しい位置なので、親指でゆつくりと十秒ずつ十回ぐらい指押し、その後、サロンパスを1cm四方に切って貼ることも、かなり楽になります。



鼻詰まり(風邪や鼻炎アレルギー等)

- ▽迎香(小鼻の横にあり、鼻孔のすぐ外側。)鍼を十度の角度で斜め上向きに入れ、三〜五mm挿入。反対側も同様にする。もし、鍼が出来ない場合は中指の腹でゆつくりと押しながら小さな円を描くように十五回ほどマッサージする。

印堂 迎香



このポイントも、痛みはあまり感じません。鍼を入れると眠ってしまう人が多いです。人によっては、鍼の間、鼻水がだらだら出ますが、鍼が終わると鼻がすーと通るので、気分がよくなります。

発熱(子供の急な発熱や喉の痛みにも有効。)

- ▽耳尖(耳タブの一番高い所)鍼を一mm位、一瞬だけ刺して抜き、指で押して、血液を一〜二滴絞り出す。

【灸治療】

灸は、オウショウ・ヨモギ(モクサ)の葉を乾燥させたものに、火を点けて燃やすことで、体を温め、体内の冷えや湿気を取り、気や血行を良くする効果

があります。中国伝統医学では、皮膚に直接モクサを置く直接法は、慢性のリーユーマチなどの治療以外では、火傷の危険性のない、生姜、ニンニク等を皮膚とモクサの間に置く間接法が行われます。しかし、高血圧や熱のある症状には、適用できません。

(用意する物)

○モクサ

○生姜又はニンニクを二〜三ミリにスライスして、断面に、たくさん小さな穴を開けておく。ニンニクは、殺菌効果があるので、二キビやおできの皮膚の感染症のある時に使われる。生姜は最も多く使われるが、特に、吐き気をとめたり、暖める効果があり、胃腸疾患に用いる。

(灸の手順)

モクサは高さ一センチ位のピラミッド型に、形を整え生姜の上に置き、頂点にライターで火を点けて皮膚の上におく。熱くなったら、次々代えて、三〜四回繰り返す。



慢性の腰痛症
▽命門(腹ばい)うつ伏せになり、背骨の上で、お臍のレベルから脊髄二個上。)

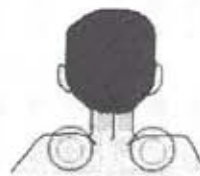
▽腎輪(右と同じ高さで、背骨から指二本外側の両側。)

▽痛点(痛みや冷たく感じる所)

この灸は、とても気持ちが良いくて、腰の痛みを和らげると同時に腰が軽くなります。老化防止の効果もあるので、夫婦でお互いに灸をするのも、仲円満の秘訣になるかもしれません。

【カッピング】

昔からの治療方で、ガラスやプラスチックのカップを真空にして、皮膚に吸着させ、刺激を与え



ることによって、血液の循環をはかり、血行をよくします。体内組織の改善により、筋肉のこりをほぐします。昔は、動物の角が使用されていましたが、灸との違いは、冷えの症状だけでなく、熱の症状にも使えることや、マッサージ効果もあり、皺や浮腫みを取る美容効果もあります。

(用意する物)

中型のガラスカップ八個、ピンセット、ト、アルコール、綿ボール。

(効果)

皮膚の若さを保つ。間接の働きを円滑にする。内臓諸器官を活発にする。自律神経を調節する。筋肉マッサージ効果。血液を綺麗にする。抹消血管の血行をよくする。

(方法)

綿にアルコールを染ませて、ピンセットに挟み、ライターで火を点ける。カ

ップの中にこの火を一から二秒入れて、すぐ皮膚の上にこのカップを置く。皮膚が、やや赤黒くなったら、ゆつくりと、づらしながら外す。

(場所)

うつ伏せに寝て、背骨から指二本外両側。又、痛みや冷たく感じる所にも、同様に置く。吸引後に、丸い跡が付く、黒味がかつていたり、紫がかつた赤色の場合は、鮮やかな赤色より、その部分に対応した臓器の機能低下があると言われています。

カッピングの応用として、芳香オイルを皮膚に塗ってカップを皮膚の上を滑らす事で、マッサージの効果もあります。

(注意事項)

怪我や腫れがあったり、出血がある場合や循環器系の悪い人や体調が著しく悪い場合は、症状を悪化させる可能性がありますので、禁忌です。

●どこで、器材を入手するのか

ここに紹介した材料や道具は、中華街の漢方薬屋さんで、誰にでも簡単に手ごろな値段で入手できます。

人間の体には、異常が起きるとそれを治そうという働きが備わっています。薬や医療はそれを助ける方法にすぎませんが、私たちは、それを承知で熱が

出れば解熱剤、風邪を引けば風邪薬と、少しでも早く楽になろうと、いろいろな薬という化学物質を体に取り入れてしまいます。しかし、発熱は、体内に入った病原菌を殺す為に、体温を上げているのですから、無理に熱を下げることで、病気をこらしてしまいます。又、薬は、体にとっては異物なので、解毒して、体外に排出するという余分な労力が必要になります。又、アレルギーの為、薬が飲めない人もいます。

一方、鍼灸の作用は、まだ科学的に十分解明されていませんが、数千年にもわたる長い経験を通して効果が証明されています。鍼や灸やカッピングは、知識があり、慎重に行えば、だれでもどこでも安全に副作用の心配もなく出来ます。しかし、自分で鍼をする自信がない方は、ここに紹介したツボに指圧しても、同じような効果がありますので、決して無理をしないでください。もっと詳しい事を知りたい方は、専門学校でコースを取る事も、自分やベトナムを含めた家族の健康管理の為に、良い考えかもしれません。

診療所

Toronto School of Traditional Chinese Medicine: tel: 416-782-9682

毎週水曜日は日本語でも診察が受けられます。

旅のエキスパート

アンディ九十九(つくも)の

地球の味わい



バンクーバー在住のアンディ・九十九(つくも)さんの著書「地球の味わい」が昨年末、人間の科学社から刊行された(定価税別一千六百元・ISBN4-8216-0203-6)。

旅行関係の本が溢れている中で、ツアーガイドとして海外旅行二百五十回の記録を持つ九十九さんのこの本は、旅行のエキスパートが書いたプロ中のプロの目から見た観光旅行とはいかなるものか、ということをお話してくれる。

旅から得た経験は日常生活のそれとは違ってエキサイティングで、印象に強く刻まれる。ロバは旅に出ても馬になつて戻つて来ない、と言つたのはイソツブかゲートルか忘れたが、旅に出ればロバだってロバなりに学んで帰つて来るのである。ましてや九十九さんのような名ガイドに案内されたら駿馬になつて戻つてくるであらう。

この本は「専用機による五大大陸世

界一周の旅」遙かなるアマゾン、「狙われる日本人観光客」「いとしのアンコールワット」「英霊よ安らかに眠れ」「大成功」台湾菌の治療ツアー」の六つの旅に集約された九十九さんの二百五十回の海外旅行経験のエッセンスである。

「日本では味わえない楽しい経験、新鮮で珍しい発見もあるが、その反面、意外なことに驚かされること、時には悲しくも且つ恐ろしい出来事に遭遇することになるかも知れない……。この本はこれまで何回も世界の各地へ旅行した経験の中から、普通では中々体験しにくい出来事、エピソードを集め、そのエピソードの意味することを考えたものだ。」と九十九さん自身が序文に書いているように、珍しい仕向地での単なる旅行体験談ではなく、ツアーガイドとしての苦勞、感激、冒険、失敗の汗と涙の中から、各地の国情、社会のきわだった違いや、その中で共通する人間性が浮かび上がつて来るのであ

る。

この本を読んでいろいろな事を知ることだ。そのひとつは南米某国には泥棒養成の専門学校があること。「自己管理の出来ない無防備な人が多い」「日本人観光客がスリ・泥棒の犠牲者になりやすい」とは周知の事実だが、世界の観光地で日本人観光客を毎日待ちかまえている泥棒チームには南米からの出張者が多いとは知らなかった。カナダ国内で発生する観光客相手の犯罪は、そのほとんどが南米からの出張プロ集団によるもので、地元者の犯罪は少ないそうである。彼らは主として、バンクーバー、ナイアガラを仕事場とし、バンクーバー空港警察(リッチモンドRCPMP)によるとその被害者は日本人がダントツとのことだ。

日本人とバスポートの話なども、そのあまりにも「無防備」ぶりに読んでいてハラハラした。なぜツアーガイドが





団体旅行参加者全員のパスポートを預かるのか、やつとその理由がわかった次第である。話はそれるが、日本ではパスポートを旅行エージェン트에預けつばなしにしている人もあると聞く。更新の時期が来たらエージェン트가その手続きいつさいをする。エージェン트의方もお客のパスポートをがっちり握つていれば、他のエージェントにお客をとられる心配がない。預ける方も自分で持つていて紛失したり盗まれる心配がない。

パスポートに関しては九十九さんもアルゼンチンの一流ホテルで恐ろしい経験をしている。途方に暮れた彼を親身になって助けたのはホテルの支配人ではなくて、そのホテルに勤務する日本人の一従業員であった。

ポーターレスに活躍する泥棒プロたちのあの手この手が紹介されていて、自衛手段の参考になる。海外旅行にお出かけの際はまずこの一章「狙われる日本人観光客」を読んでからにしていたきたい。

アイデアマンの九十九さんは日本の旅行業界で初めてのツアーを幾つか案出している。カナダのチャーター旅客機を使用した「専用機5大陸世界一周の旅」や上手でボラない台湾の歯医者さんを発掘した「台湾歯の治療ツアー」などである。

カナダ3000のボーイング757機を使った三十二日世界一周の旅は、八十八席、一人約四百万円の超豪華なファーストクラス・エアクルーズとして話題になったツアーである。一九九

六年十月に実施されたこのツアーは、バブル崩壊後の真つ只中にもかかわらず完売し、その年のツアー・オブ・ザ・イヤールグランプリを受賞した。全席エコノミークラスのデイスカウト・チャーター機をファーストクラスの座席に取り替えることから準備が始まる。弁護士を加えてチャーター機会社側との契約条項作成に十二回、延べ八十三時間を経やしたそうである。旅のルートはバンクーバー出発の東回り、ハミルトン空降でナイアガラ、メキシコのユカタン半島のメリダ、リオデジャネイロ、イグアスの滝、アマソンのマナウス、モロツコのマラケシユ、イタリアのフィレンツェ、エジプトのカイロ、ルクソール、ナイロビ、ジンバブエのビクトリアの滝、モルディブ、オーストラリアのバース、エアーズロック、シンガポールを経て帰国。日本出発にできなかったが、運輸省（現在は国土交通省）の規制で実現できなかったそうである。「世界一規制が多く、許可を下ろさない国」を実感したそうである。

「台湾歯の治療ツアー」は、よい治療を受けようと思うと高くて保険が効かない日本の歯医者さんに悩まされてい

た人たちの需要が殺到してベストセラー・ツアーになり、テレビショーで取り上げられるなど人気を博した。

太平洋戦争の激戦の地、旧日本領バラオ諸島の洞窟やジャングルには戦死した日本兵の遺骨が戦後五十以上経つた現在でもまだ累々と放置されたままだ。遺骨収集の旅「英雄よ安らかに眠れ」は、感無量である。収集団を歓迎してくれた日本時代を懐かしむ日本語ペラペラの現地の人たちもすでに世を去っている。日本政府は遺骨収集をなぜか途中で打ち切ってしまった。

九十九さんは明治大学政治経済学部卒業後、日本信販に入社、社報編集を一年した後、子会社の日本信販トラベルに誘われて海外旅行の仕事に従事するようになった。一九八二年カナダ・バンクーバーに移住、旅行会社の責任者を勤め、一九八九年日本旅行カナダ社に移り、社長に就任した。二〇〇〇年末日本旅行を退社、オーロラ・コンサルティング・アソシエーツ社を設立、旅行を含む日加ビジネスのコンサルティング業務を手掛けている。

（この本はカナダの日本の本屋さんや日本食料品店で入手できます）

「温故知新」カナダで創作する屏風

屏風に魅せられた男

—伝統の美しさを現代空間に—

山本 博



おしどり夫婦のルイズさんとナンシーさん

カナダで屏風を専門に制作・販売している人がいると聞けば、カナダは多様文化だ、二十一世紀になつて世の中グローバル化してきたなど思ったりする人も多いかと思いますが、この人はルイズ・バーモンドさんでオンタリオ州セント・マリーというトロントから西へ車で約二時間二十分程行った田園風景の中にある人口六千人の小さな町に住んでいる。シエークスピア演劇祭で知られているストラットフォードの町から十五

分のところにある石造りの教会やタウンホール、図書館などの建物があるストーンタウンとよばれる美しい景観の町である。

この町のタウンホールを南に数ブロック下がった所にあるカズー公園前にルイズさんは奥さんのナンシーさんと住んでいる。ルイズさんはアメリカのイリノイ州シカゴから六十五マイル離れたヘブロンという町で生まれたが、一九六六年十月にカナダに移住してきた。

なぜ、彼が屏風を作ろうと思ったかという、今から四年前アメリカの美術館で初めて日本の屏風絵を見てその美しさに魅せられ一目惚れをしてしまった。その時の事を彼はこのように語ってくれた。

◇初めて見た日本の屏風

「一九九八年に私はオハイオ州デイトンにあるデイトン美術館を訪れました。以前から日本美術の技巧に興味があったので日本ギャラリーに入つて行きました。その美術館の日本美術の収集は比較的小数でしたが展示物の美しさや状態は素晴らしい。そこで私は初めて日本の屏風を見ました。江戸時代の作者不詳の六曲一双の金屏風で画題はその当時流行した富士山と武蔵野の月に秋草図が描かれている対になっているものでした。」

「その屏風は床から少し高い壇上に展示してあったので鑑賞者は立つたままでもちよつど良い視線で芸術家の意図したところを見る事が出来ました。最初は金箔と鮮やかな色彩に圧倒されましたが、しばらくするとその屏風のエキゾチックな美しさと荘厳さに打たれ五、六分たらずでんでいました。私は屏風の前にあつたベンチに座りその後しばらく目の前の静かな高貴さを楽しみました。私の人生の中でこれ程美術に影響を

受けた事はありませんでした」

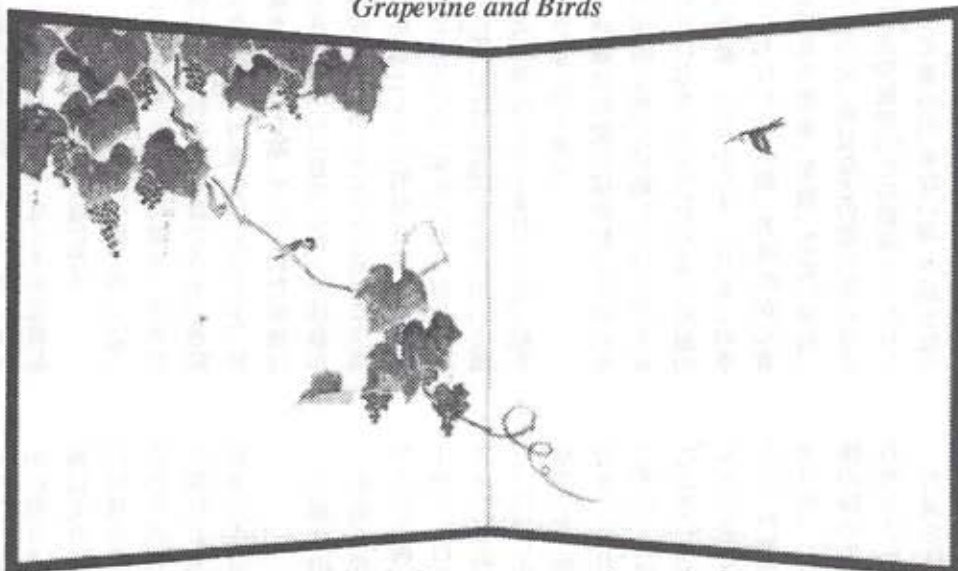
四年前、ルイズさんの見た屏風はおそらく江戸時代初期の住吉派の画家によるものではないかと思われるが定かではない。日本の屏風を実際に見たのは初めてであり、その不思議な美しさに感動して時間の経つのを忘れて眺めていたという。いつか日本の屏風を自分で所蔵してみたいと思うようになりその夢は次第に膨らみ制作・販売してみたいと思うようになったがどうしたら良いか五里霧中の状態だった。

◇出会い

そんな時期にトロント市クイーンストリートにある和紙の店「ジャパニーズ・ペーパープレイス」で日本画家がトロントに住んでいる事を聞いて、昨年のある日、ルイズさんは屏風を作り販売したいが力を貸して欲しい、と私を訪ねて来てくれた。そして、初めて屏風を見た時の感動とその美しさを情熱的に語った。

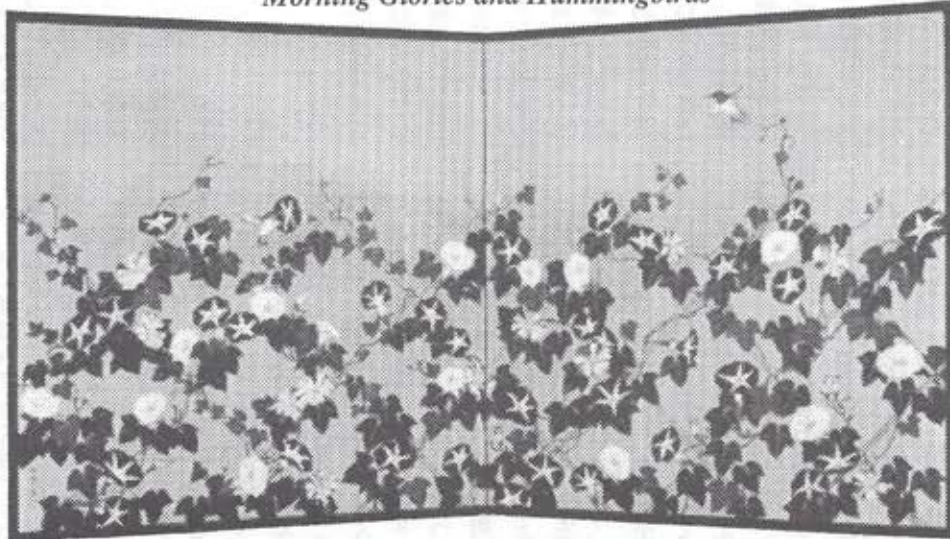
私自身も大画面の絵を描いてみたいと思つていたところだったことから千載一遇の機会と喜び、話ほとんどん拍子に進み、ルイズさんは屏風の構造や材料、制作工程を調べるため英国ロンドンのピクトリア・アルバート美術館の日本美術研究家サンドラ・グランハム博士に問い合わせ「屏風についての研究論文」の貴重な

Grapevine and Birds



Twofold screen: Ink and colour on paper mounted on wooden frames with paper hinges, black lacquered moulding, and dark green textile backing.
• Origin: Japan / Canada • Era: Heisei 13 (2001) • Size: 85cm x 170cm (35in. x 69in.)

Morning Glories and Hummingbirds



Twofold screen: Ink, mineral colour, 2 layers of pure gold leaf on paper mounted on wooden frames with paper hinges, black lacquered moulding with gilded brass decorative corner brackets, and dark blue textile backing.
• Origin: Japan / Canada • Era: Heisei 13 (2001) • Size: 85cm x 170cm (35in. x 69in.)

資料をインターネットで送ってもらい、日本から屏風に使用の和紙、最上の表装用刷毛などの道具類、屏風金具などを取り寄せた。

◇朝顔にハミングバード

私は絵の制作に入り、まず茶室で

使用する風炉先屏風二点を制作する事になった。題材は一点を朝顔にし金箔を使用、もう一点は水墨で葡萄に鳥を描く事にした。私は画家の頃京都の智積院に現存する桃山時代の金碧障壁画で長谷川等伯父子による桜楓図のうちの楓図の一

面を原寸大で模写し技法を学んだことがあったのでその時の経験がおおいに役立った。

朝顔図にハミングバードを入れて欲しいとのたつての希望があり、えっ、日本にハミングバードがいたのかな？と思ったが「ハチドリ」という日

本語もあり人に聞くと南西諸島に生息しているらしい。私自身はセントルシア島で見たことがあったのでその時の記憶と資料写真をもとに描いた。日本人が見ても異国情緒のある絵に仕上がった。背景には金箔を押し華やかな雰囲気にした。また、もう一点の葡萄図は水墨画で墨を主とし、落ち着いた感じにして、葡萄の房にわずかの色彩を添える事と右側の一面に思い切つて空間を取る事によつて装飾的な効果を高めた。

◇意外と古い屏風の歴史

屏風の「屏」は「かこう」または「風を防ぐ」などの意味があり、数枚の画面をつなぎ合わせ自立して置き、物を囲つたり特定の空間を仕切りブライバシーを守るといった実用的な間仕切りの働きを持つ調度品。現代風というインテリアの装飾品として発達してきた。屏風の原型は意外と古い。紀元前中国の前漢の時代に発している。日本へは六世紀に新羅から木製の屏風が送られて来たことが日本書紀に記され、奈良時代のもの数点が正倉院に現存している。

平安時代になると建物が巨大化し、寝殿造りが生まれたが壁のない大きな部屋を衝立障子や屏風を使つて間仕切りとした。また中世には襖障子も現れた。屏風はその設置場所が自由で、移動が可能な事から

言葉の笑壁

「食材」と「日本食」

鈴木ユウ

最近、よく食材と言う言葉を目にする。と言つてもこれは日本語の中での話。一時、日本でグルメなんて言葉が流行りだした頃から使われだしたらしい。

「ウチの食材は最高の物を使つています」「うちの食材はね……」と言う風に、一般的にその道の職人さん。料理人が使つていようだ。

でも……と僕は思う。ほんの少し前にこんな言葉使つていたのだろうか？ 日本語なのだから使われていたのだからうけれども、しかし、記憶する限り、僕が日本にいた頃はそんなに耳にしなかったような気がする。最近では場末にあるような安食堂の親父までがテレビに出演したりすると使つていよう。

レポーター「このコロッケ定食は美味しいですね」

定食の親父「あたりめえーよ。なんたつてウチの食材は、全国の厳選された素材を使つてんだから、食材が違うのよ。食材がわかる？」

僕にはさっぱりわからない。間違つてはいないのだからうけれども、でも僕はそんなに気取つて言わなくてもいいような気がしてならない。「材料」の一言で足りるような気がするのだが。ちなみに手元のコンピューターに入っている辞書で「食材」を検索してみると、「料理の材料となる食品」とある。もう一つ辞書を取り出してきて、かなり古いけれども、旺文社 国語実用辞典 昭和四十二年発行でみてみると、載っていない。その頃は一般的な言葉ではなかったのかもしれない。

カナダに来てしばらくたった頃、気になりだした言葉がもう一つある。「日本食」という言葉。日本にいた頃、「今日は日本食にしよう」なんて絶対に言わなかった。強いて言うとならば、「和食」だったような気がする。これとて間違つた言葉ではないのかもしれないが、僕はあえてこの言葉は使わない。

なんだか、語呂が合わない気がして。きつとこれは「日本食料品」という言葉から出てきたと思うのだが、言葉は時流に合わせて変わっていくものだと思つても、でもやっぱり僕には奇異な感じがしてならないのである。誰かがこの言葉を使うたびに、どうしても食欲がなくなってしまうのは、僕だけだろうか。

ちなみに日本の友人にこのことを聞いてみると、日本食とは言わないという。やはり、これは外国育ちの日本語なのだろうか。これが本当に正しい言葉なのか誰か教えてほしい。

或る日、日本のテレビ番組を見ていたら自動車評論家がこんなことを言っていた。

司会「今回の新型ジャガーはどうですか？ 先生」

評「さすがにジャグウアーはジャグウアーです。いいです」

司会「やっぱりジャガーはいいですか？」

評「いいですね。ジャグウアーは。ジャグウアーですよ。君、ジャグウアー」

嗚呼、もういいかげんにしてくれ。キーボードの入力が面倒でいかん。

日本語で英語の発音に似せて言う、もしくは書くなんて無理なのだから、そこまで格好をつけなくていいのではないかと思うのだが。

時々こうした無理した日本語を

読んでみると、喉が痛くなる。例えば、英語の「V」にあたる言葉として「ヴィ」というもの。実際、声を出して読んでみるとわかるけれども、どうしたつてこの表記のように言うことは不可能に近い。例えば、ベトナムを「ヴェトナム」「ピクトリー」を「ヴィクトリー」などと言う類。さ

すが新聞などではそうした文字にはほとんどお目にかからないけれども、雑誌や自称外国通、外国語通と呼ばれている人々が使うことが多い。

もともと、近代日本語というのは、明治以降に作られたもので、しかもきちんとした決まりがなく、現在までできてしまっているのだから、そうした混乱が起きていても不思議ではないのかもしれない。でもどちらかに統一してもらわないと、読みづらい。いつそのこと、外来語のカナ表記禁止令を出してしまつて、全て漢字表記にしたらどうだろう。

司会「先生、今回の新型『黒豹』どうでしょう？」

評「いいですね。『黒豹』。このスタイン……じゃなかった、姿がいいです」

司会「この革張りのステア……ではなくて、手動方向変換機もいいですね」

評「アクセ……じゃなかった、加速器具もいいですよ」

司会「やっぱり、黒豹には倫敦の街がよくあう？」

評「そうですね、君、黒豹ですよ、黒豹、笑笑笑笑……」

うーん。なんか余計に読みにくくなったよう。やはり、言葉というのは難しい。

『愛聴盤の世代』

レコード店閉鎖に思う

オジサン音楽愛好家の嘆き

青柳俊明

◇タワーレコードの閉店

秋口十月、タワーレコードがトロントから全面撤退した。最後の店ダウンタウンのクウイン&ヤング店では、九月半ばに全商品10%閉店処分割引が始まって、バーゲン目当ての客が統々と押し寄せた。日を追うにつれてディスカウントの率は上がって、三〇%、四〇%、そして最後には六〇%オフの張り紙がでかかど貼られた。

タワーレコードは、アメリカの大資本で、ニューヨークのリンカーン・センターやワシントン・スクウェア近くの大店舗は、行っっては行けないと思いつながら、ニューヨークを訪れるたびに足が向いて散在してしまう危険なスポットだった。この

頃はタイムス・スクエアにヴァージン・レコードの超大店舗ができて、

おまけにこれが午前二時まで営業しているせいもあって(劇場や音楽会の終演後に行けるのが嬉しい)、タワーはちよつと無沙汰していたのだが、やはりニューヨーク大学裏のタワーの処分直前割引ショップを覗けば、探していた録音がこつそり全部見つかつてしまつて仰天させられる。

トロントの店も、もちろんニューヨークのようにはいかなくなつたけれど、充実した品揃えで楽しませてくれた。オペラの在庫は老舗のサムに勝るとも劣らない立派なものだった。大型店がヤングストリートに三軒並んだ時期があつたわけで、こ

れは音楽好きには黄金時代として語り継がれるのかも知れない。

その栄光の店が、閉店処分市にむらがるハイエナのようなショップでこつた返していた。めぼしいCDは早々に売れてしまい、ろくなものはねえじゃねえかと、不満の声も聞こえる。自分もそのハイエナの一員でありながら、異様に血走つた雰囲気の中、腹立たしい思いがこみ上げる。これだけ音楽好きが居れば、充分経営が成り立つはずなのに……

◇ダウンロードとEコマースに押される

タワーレコードはアメリカ本国でも営業不振著しく、苦境に立っているという。何といつてもその原因は二つ。まずインターネットからの無料ダウンロードが盛んになって、特に若い世代は録音にお金を出さずという習慣を失いつつあること。そしてもう一つは、これもやはりインターネットでの通信販売が主体になって、店で買うという行為が前時代的になつてしまった。

古式ゆかしい音楽愛好家としては、嘆かわしいことしきりだ。実に情けないこと……

世の中には音楽そのものを作曲したり、音楽録音を制作したり、演奏したりして生計を立てている人が居る。彼らの仕事を享受する

のに無料で済ませるという発想が、まずひどくせこいものに感じられる。

◇宝物だったLP

現在中年の世代はみんな、学生時代「エアチェック」と呼ばれたFM放送からの録音を楽しんだものだった。図書館から借りてきたレコードの録音もしたし、友達との貸し借りをもとにした自家製録音コピーもあった。一度CDの音楽に慣れてしまつてもうカセットテープはとても聴いていられないので、そこそこの稼ぐようになってからは、ラジオ録音は無沙汰している。しかし考えてみれば、若い頃だつて、ザルツブルグやバイロイトの音楽祭のライヴ録音は他所で売っていないから目くじら立てて録音したけれど、ケチろうと思つてテープに落とした覚えはあまりない。実はそれ自体えらく手間もかかるし、テープというのはあれでけっこうかさばるものであった。

また、聴ければいいじゃないの、という神経は、オジさんレコード愛好家にはない。自分でちゃんと買ったものを持つていたのだ。ジャケツトに演奏家のサインとかもらえれば、それはそれは神々しい。だから、店頭で一枚一枚録音を引つ張り出して吟味を重ね、大事に抱い

て帰る道すがらの楽しさが、音楽を聴く瞬間とはまた別に胸躍る。LPレコードは何といつても三十七センチあるから、ジャケットも大画面。イタリア往年の大プリマ、テパルデイがサインしてくれたブッチー二のオペラのレコードとか、一生もののお宝だ。

ところが、今は、やたらとちうちやくてせせこましい。グラフィックデザインナーの原研哉さんと話していたら、CDの時代になって、デザイン意欲が掻き立てられないとぼやいておられたが、技術的にも効果を上げるのが難しいだろう。一流のデザイナーが手を出さなくなれば、見てくれの点からも集める方にも面白くない。そんな小さな所からもどんどん拡大する。

さて、業界の現状分析が出来るほどの情報通ではないので、それは専門家に譲るとして、タワーレコードの閉店は、自分の中の音楽史を振り返る機会を与えてくれた。

ふと気が付くのは、若い頃とは変わったなと、自分でも思うこと。自分も変わった、周囲の状況もまるで違う。

◇恣意的に楽しむ音楽

音楽が好きと一口に言っても、その範囲は実に広大だ。パロック時

代からうちだけでも四百年余。

日本にいた頃、西洋音楽史を「ひととおり」眺め渡さないとイケない、真剣に考えていた。音楽関係のある程度のプロになるつもりだったのだから、それはそれで良い心がけなだけけれど、今、音楽はとりあえず趣味として扱える自由な身分になつてみると、うての強迫観念が殆ど滑稽なものに思えてくる。楽しむことがまず先決のはず、どうして勉強しなくてはならないのか、どうして専門知識が必要になるのか。教条主義や教養主義は、心の潤滑剤としての音楽とは対極にある。

カナダに住んでみて気がつくのは、日本のレコード店との商品の並べ方の違い。東京だと、一人の作曲家の録音は作曲年代別に並べる、題名の五十音順ではなくて。つまり、同じヴェルディの「椿姫」と「アイダ」はどちらが先に作曲されたか買いに来た人が知っているのを前提として並べられている。これでは、普通の人のための店ではないだろう。本格的なオタクでないと、買物がしにくいのだ。

楽しいこと優先の、アルファベティカルオーダーで買物の出来る国に住み、しつかり年もとつて、もう、百曲以上もあるハイドンの交響曲を全部聴こうとか、どれも長大な十数曲のシヨスタコヴィッチの弦楽

四重奏にチャレンジしようとか、そんな気はもう絶対に起こらない。

どんなに有名な作曲家でも、ピント来なければ放つておく。名曲なのは知っているけれど、ベートーベンの後期の弦楽四重奏曲やバルトークは、生の演奏会でなら歓迎だけれど、あんなくたびれるもの自宅で聴くはずもないので、CDは絶対に買わない。音楽は古典派から後期ロマン派まででけつこうと公言してはばからない。パロックも切り捨ててしまふのが、我ながら凄い。ある打楽器家の前で、「頑張つてもラフマニフまでですかね」と冗談半分に言つたら、「せめて、アルバン・ベルク(第二次大戦中に没)くらいまで何とかして頂かない」と、射すくめるようなまなざしで睨まれてしまった、打楽器は現代曲多いし…。

タワーレコードの閉店セールでは、結局大好きな指揮者のチェリビダツケのブルックナーのシリーズと、クーベリックが振つたドボルザークの交響曲全集を買った。オペラは、スタンダードなところで「さまよえるオランダ人」と「魔笛」。それからカナダ人ピアノリストのルイ・ロルディの録音でベートーベンのピアノソナタを何曲か。

DVDも買っているし、ハーモニカの協奏曲というのも手に入れた。

普段は買えないものをこの際に…という思いが頭をよぎる。ロルディの録音は英国の会社から出ている、カナダでは通常えらく高くて手が出しにくい。

ある程度慣れ親しんだ曲の録音が欲しくなる。若い頃に魂揺さぶられた演奏を手元に置いておきたくなる。きつと、きれいな音の新録音が出ているのだろうかけれど、そんなことより思い出優先。あの人と聴いた曲とか…あの時鳴つていた曲とか…あるじゃありませんか、そういうので。これはやはり自分で買つて手元に置かざるを得ない。ダウンロードなんかじゃとてども。

◇サムよ、お前もか！

かくして、ハイエナの散財はクレジットカード財政を大圧迫する結果となった。そして、すつからかになつた元タワーの店舗に心痛めていた矢先、かのサム・ザ・レコードマン倒産が新聞をにぎわし、ここでもバーゲンが始まった。我が家からは徒歩三分の距離。何とかこの店だけは存続して欲しい。トロントが世界に誇れる音楽文化のよりどころ、そんなところのレコード店ではないのだから。(国際交流基金・トロント日本文化センター)

*サム・レコードはその後再開した。

漁師から牧師へ

ジャパニーズ

アライアンス・チャーチの

松原信雄さん



車を運転してチャーチへ

五島宏治

マニトバの空の下を音もなく流れるアシニボインの川と、ウイニペッグの町を南北に走るオズボン通りが交わる辺りの住宅街にはいくつもの教会がある。高い尖塔をもった建物や年月を刻んだ石造りの礼拝堂などが、ほとんどのプロックごとに民家に混じって建っている。

その中の一つを借りて毎週日曜日の午後、日本人が中心になった集いが開かれる。ガートロード・アベニューの五四九番地にあるトリニティ・バプテスト教会の地下がその会場である。

ここにはカナダ生え抜きの人がかりでなく、いろんな国から訪れ

た人もやってくる。医学や農業問題で定評のあるマニトバ大学には日本からその研究や留学に訪れる人も多く、そういう人たちが家族連れでよく顔を見せる。両親が日本語を話していたので、自分も習いたいという韓国の人や、中国、バン格拉デシユの人もある。留学の期間が終わって日本へ帰った人たちの子供が大きくなり、何かの機会にやつて来ることもある。礼拝の中のお知らせのコーナーでは、そういう人たちの頼りがよく紹介される。また、毎回、集会の最後にはティーパーティーが開かれ、全員が和やかに歓談したあと家路につく。この辺りは普通の教

会の礼拝とは一風変わっている。

日本やアジアの国とカナダを結ぶ親善伝道の仕事をここで三十年以上にわたって続けてきた松原信雄さんは昨年十二月にその仕事を退き、後進にバトンを譲り渡した。

「ひとくちに三十年といっても、ほとんどそんな感じはしません。でも、この教会に通い始めてから自動車だけでも四台目になります」

普段は小学校の先生を務めながら、日曜日だけ牧師を続けてきた。教団本部からの財政的支援はなく、そこに入りする人の数も限られているので経済的にはほとんど社会奉仕に近い仕事だった。

「参会者が一人減ると、また別

の人が入ってくるというようにいつも同じくらいの数の人が集まるのです。不思議ですね」

少人数の集まりながらメンバーは非常に熱心で、青年会も活発に動いている。

松原さんは数年前、体を痛めて大手術を受けるまで剣道二段の猛者であった。その半生を辿ってみると、戦中戦後にかけてカナダ在住の邦人一世、二世の人たちが歩いた姿がそのまま二重写しとなって浮かび上がる。生まれはバンクーバーの漁師町で、十二月十五日に七十五歳を迎えた。しかし、若い頃には今のような生活は思ってもみなかったようだ。その生活に大きな変化をもたらしたのは、やはり何といっても第二次大



松原さんの趣味の陶芸。子供の頃住んでいたB・C州の漁師町を陶器で再現した。

乗ることしか知らなかったこの一家にとつて、初めての野良仕事は非常に厳しいものだった。

「この地方の農家の作物は麦と砂糖大根でしたが、大根の栽培は全く機械化されておらず、作付け、間引き、除草から収穫にいたるまですべて手作業でした。朝七時、八時頃から夕方まで夏場の強烈な太陽の下でやる仕事ですから、それはそれは大変でした」

それにバンクーバーではまるで経験したことのない冬の厳しい寒さも身に沁えた。しかし、その農家の主人は、日曜の安息日は必ず守り、松原さんを教会に伴った。終戦の年の六月に高校を卒業、砂糖大根の収穫が終わったあと、職を求めてウイニベッグに出、アライアンス教会に通い始めた。夏には自宅に帰り、家族と共に農場で働き、冬にはオンタリオの山で製紙の原料となる松の木を切り出す仕事を続けた。五年から聖書学校に学び、その後、日本を訪れ、広島のアライアンス聖書学院で教鞭をとった。

「ここでは講義の内容をノートに毎回細かく記し、学院長にチェックしてもらいました。非常に厳しい経験でしたが、これが私の日本語習得に大きく役立ちました」
五七年に今の夫人、米子さん

と結ばれ、五九年愛媛県の宇和島市に移ったが、初めは教会堂もなく、信者の家で礼拝、集会を開く生活が続いた。その間に双子の男女が生まれ、あまり豊かでなかった戦後の日本の食生活や過労も祟って胸を冒され、カナダへ帰って療養の生活が始まった。

「私だけは家族からずっと離れた療養所に入ったのです。その間の家族の生活費も含め、医療はすべて国が面倒をみてくれました。辛い病気はそれほど重くなかったのですが、約二年間というものの、ほとんど薬漬けの生活でした」
六六年にジャバニーズ・アライアンス・チャーチが発足。ウイニベッグ市の小学校に非常勤ながら職を得て、第二の人生が始まった。

九一年にこの職を退いた翌年、思つてもいかなかった病気に見舞われた。
「ふだん体が苦しいなどということとは滅多に口にしない人が、痛い、痛いといつて駆け回るの、これは大変なことだと思いましたがね」と米子さん。

診察の結果、左上半身の大動脈が膨らみ、あとわずかで破裂寸前の状態であることが分かった。放置すれば勿論、命取りになるので、手術で人工の血管と取り替えることになったが、たとえ成功し

ても、危険な切開作業なので両手、両足が動かなくなるかも知れないという医師の宣告だった。

「皆さんが祈って下さったお陰で命拾いをしました。本当に有り難く思っています」

手足の麻痺だけは免れたが、喉の神経が異常を来たし、以前と同じように話をするには出来なくなつてしまった。しかし、周りの人の理解と協力で支えられ、その後も人前に立つて語り、祈ることは止めなかった。

「私たちが同じ場所ですつと活動を続けてこられたのは、いまの教会がほとんど無料で会場を貸して下さったからです。私としても夢は持っています。自分たちの手で自分たちの会場を作りたいという……」

松原さんの自宅の一室には、両手両足の不自由な画家、星野富弘さんが書いたカレンダーの文章が貼つてある。

「白い息よ お前に逢える冬の朝は ひと息ごとに 蒸気機関車のような 力が湧いてくる さあ 古い悩みなんか 吐き出し 新しい困難を思い切り燃やし 今日という原野を走ろう」

(ウイニベッグ在住)



リースクデール村の モンゴメリ



復元の日を待つて 牧師館の模型が完成

梶原由佳

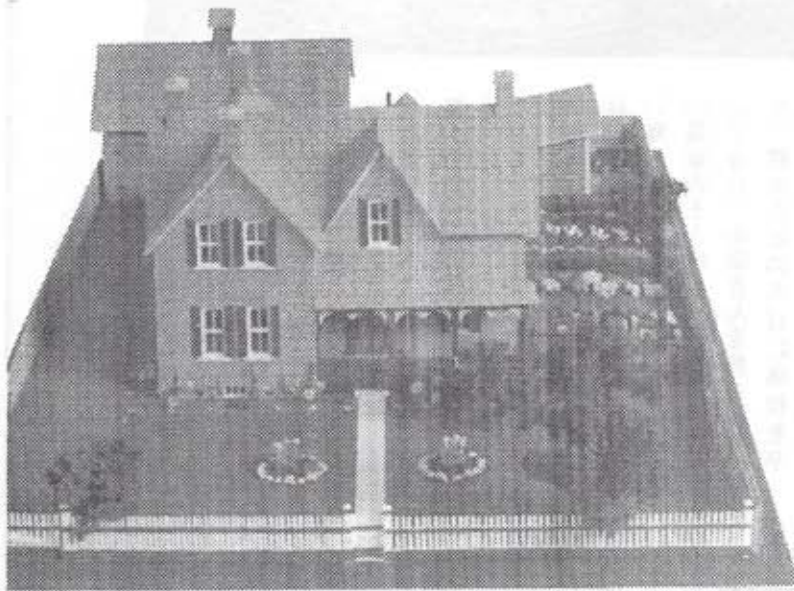
「赤毛のアン」の作者L・M・モンゴメリ（一八七四〜一九四二）のことを調べ始めて、早や七年。モンゴメリ関連の催しにはなるべく参加するようにしている私。

さて、十月二十日の土曜日にオンタリオ州のリースクデール村にて、恒例のモンゴメリ・デイが催された。モンゴメリは、この村に牧師として赴任した夫とともに冒一九一一年から二六年にかけて暮らしていたのだ。企画主催は、リースクデールとその近郊の町ウックスブリッジの有志から成るモンゴメリ委員会である。

☆グランマ・モードと
呼んじゃダメ

曇り空のなか、友人と連れ立ってレンタカーで村に向かった。トロントのダウンタウンから車で一時間も北東に走ると、風景は紅葉の樹林となり、田園には、牛や馬の姿、サイロの立つ農場が眺められる。

催しは、午前十時に始まっている。モンゴメリの夫ユーアン・マクド



エドワード・ハウエルさんが作った長老派教会の模型

リースクデール長老派教会にて
左から筆者、日本からのお客大竹さん、
モンゴメリの孫ルエラさん



ナルド牧師が務めた教会に入ると、丁度、ケイト・マクドナルド・パトラーさん（モンゴメリの末息子、ステューワートの娘）が演壇にて、お話をされていた。ケイトさんは、祖母モンゴメリへ宛てた手紙という形で、何度も「グランマ・モード（モードおばあさん）」と呼びかける。時折、モンゴメリのリースクデール時代の日誌から、この村の美しい風景描写を引用すると、聴衆は傾きながら聞き入っていた。

ケイトさんに続いて、モンゴメリの初孫ルエラ・ヴェネイレンさん（モンゴメリの長男チエスターの長女）が演壇へ。ルエラさんはケイトさんの方を見て、にこにこしながら「グランマ・モード」って呼んじゃだめよ。グランマと呼ばれるのが嫌いで、幼い時に私は『Daddy, Daddy』と呼ぶように言われたの。ドニーの愛称は、『L.M. Montgomery Macdonald』の d からとったのよとおしゃべりしてくれた。ルエラさんは、モンゴメリの日誌にかわいい初孫として登場していて、モンゴメリの腕に抱かれた写真も残っている。今も『ドニー』からもらった品々を大事にとっておられるそう。

☆牧師館の模型が完成

今年のモンゴメリ・デイの目玉は、モンゴメリ一家が暮らした牧師館の精密な模型だった。模型にかけられ

ていた布がとられると、教会にいた百名余りの人々が「うわ」と歓声をあげた。これは、牧師館の建物や敷地を実測し、当時あった馬小屋、鶏小屋、トイレの建物、樹木、ガーデンなどを忠実に再現させたもの。その彩りのうつくしさも素晴らしいが、模型の緻密さには驚いてしまった。

製作されたエド・パウエルさんは、ケベック州政府機関で模型作りをされていたプロとはいえ、退職後の今は八十代。視力も指先の力も弱まったとおっしゃっていたのに、出来上がった作品の見事なこと！「製作には九百時間ほど費やした」とエドさん。一日九時間としても百日である。企画の段階からだ数年がかりだそう。その行程すべてをボランティアで行ったエドさん。この模型は、牧師館修復を開始したばかりのパークス・カナダのスタッフにとつて、役立つ貴重な資料となっているそうだ。

☆生存する九八才のエルシーさん
一九二〇年代に牧師館に住みこみで働いていたエルシー・デイヴィッドソン夫人（九八歳）がいらしていたので、声をかけた。モンゴメリの家事労働を手伝っていたエルシーさんは、モンゴメリのお気に入りであった。「モンゴメリの大好きな猫がいなく



上右がモンゴメリの孫
ケイトさん
上左が模型製作者の
エド・パウエルさん
右下がエルシーさん



なつたとき、みつげられたのはエルシーさんですね」と尋ねると、「ええ、そうですよ」とエルシーさんは、席からわざわざ立ち上がつて、牧師館模型の近くにゆつくり歩いて来られた。つえ先で模型を指し示しながら、「玄関向つて右手の庭に面した二階の部屋が、私の部屋でね。たまに猫がはいってきたのよ。あの頃、うさぎもいたんだけどね。」
「馬もいましたよ。モンゴメリは馬車を駆っていたようですが。」（模型の馬小屋からは茶色の馬のミニチュアが顔を覗かせている！）
「そうでしたよ。それに、わたしもね。馬を御しましたよ。ガールフレン

ドに会いに行く友達を乗せてあげたりもしたね」と笑うエルシーさん。
「モンゴメリはどこで執筆されましたか？」
「主に「こたね」と、玄関を入つて左手にあるパーラーを杖で示された。」
問いかけるとエルシーさんはハキハキと応えてくださる。九八歳とは信じられない記憶力だ。
「百歳までは生きたいし、牧師館が修復されて、モンゴメリの暮らし時代の姿に蘇るまでは死ねないね」とも言つてくださった。
エルシーさんのお嬢さんが「早く帰りましょう」とやってくるので、しば

しばという感じで杖をつかれながら、去つて行かれた。本当はもっとモンゴメリ一家との思い出をおしゃべりされたかったのかもしれない。

☆売上げは牧師館修復基金に

教会の地下室では、私たち訪問者のためにランチが準備されていた。ボランティアの女性たちが忙しそうに地下室の台所で働いている。サンドイッチ、スープ、デザート各種、コーヒーまたは紅茶というメニュー。ボランティアの皆さんが、モンゴメリの本や「赤毛のアン」関連のお土産品なども販売されていた。この日の売り上げは、牧師館修復基金にいくことになつているそうだ。

午後には、モンゴメリの伝記絵本やインタビュー集を出した作家おふたりの講演とサイン会もあった。作家の方々と話す機会もあり、モンゴメリファンの私にとっては、盛り沢山の楽しい一日だった。

モンゴメリが暮らしたリースクデールの牧師館が、一日も早く、記念館として一般公開されることを願いつつ、私たちは村を後にした。

モンゴメリ・デイについて、詳しくは、次のサイトにてご覧いただけます。
<http://www.yukazine.com/lmmy/artic>
<http://www.yukazine.com/lmmy/artic>
<http://www.yukazine.com/lmmy/artic>

パンクパンク ルンルン♪気分

森貞一弘

世の中には、結構、凝り性で、他人から見れば、どうでもよいようなことに熱中している人が、かなりいるようだ。それは、それで、個性として認めればよいことで、必ずしも悪いことじゃないと思うのだが…。(最近、読んだ本に出ていた：僕は、どうやら精神派の人間らしい。)

【蘇れく懐かしのヒーロー】

日本語の衛星放送を受信しはじめから、「もうインターネットなんていらないな」なんて思っていた矢先、たまたま、同窓会の席



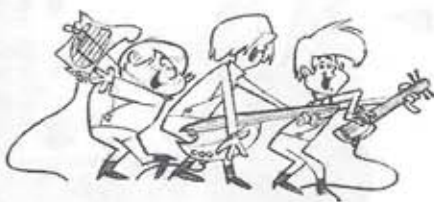
で、素朴な疑問が生まれた。「コメットさんの初恋の人ってウルトラマン太郎だっけ?」、これまた、どうでもいいことなのだが、気になると眠れなくなる…。まさかとは思ったが、なんと…この手のどうでもいいような知識をインターネット上で真剣に研究し、討論しているオタクな奴が沢山いるのだ。これを皮切りに少年ジエツト、少年探偵団、七色飯面、月光飯面などと、暇にまかせ

て、幼少の頃の記憶で思いつくまま調べてみると、癖になる。(暇人だと批判されてもしかたがない…)古い奴だと思われるかも知れないが「温故知新」って言葉もあるから、ここは、簡便してもらうことにしよう。

昭和三十年代生まれってというのは、やはりテレビで、育ったせいだろうか、この手の話題になると燃えてくる。ちなみに、アニメで大人気を集めた「鉄腕アトム(手塚治虫)」や「鉄人28号(横山光輝)」ですら、最初は人間が演じていた特撮ドラマだったということを知っている人は、どれだけのいるだろう?

【画像だけじゃ物足りない!】

ある日、電子メールに大きな添付ファイルが届いた。「うーん、相変わらず、出世もせず、馬鹿してるな。それにしても、会社の電子メール使うなんて…。このMP3って



いうのは、いったい何やろ?」という素朴な気持ちから、開けてみると、びっくり。スポ根・青春ドラマの原典、名作の「サインはV」のテーマ曲だった。実際、背筋が寒くなるほど興奮してしまった。

音とは不思議な力を持っているもので、(たしか植物に音楽を聞かせる)とよく育つなんていうドキュメンタリーもあつた…。気がめいつたときなど、聞くと再び元気になるような曲がいっぱいある。テニスの試合の日には「エースを狙え!」、研修の日には「中年よ大志を抱け!」(ごこの予備校のCMで使われていた曲)、もつと沢山の勇気が必要なときには「ウルトラマン・エース」などと、多種多様にあるから不思議だ。

【もつとパワーを…】

ところが、このMP3というファイルは多量の音声信号を凝縮してデジタル化されているために、再生には、かなりの処理能力が必要となる。「もつと、ええのが欲しいな」ということで、無理してクリスマスに高速なパソコンを買ってしまった。(うん、うん、これで、自分、懐メロを収集できる…。がんばろう、元気モリモリだ。)

【でも安全第一、テロに注意】

さて、うちの会社では、あの九月十日の事件以来、「コンピュターを知的に攻撃(ハック)される可能性?」とやたらに神経を尖らせているようだ。ふくん、難しいことゆうてるなあ。と脳天気だったのだが…念のため、自宅にも、スペシャリストの指示どおりに、抗ウイルス対策ソフトと機密保護

対策のファイアーウォールを導入してみた。その結果は、とても驚異的だった。なんと…普通にインターネットをサーフしているだけでも、そこらじゅうで、個人的な情報を垂れ流していることや、頻繁に、何者かによつて、怪しげな攻撃を仕掛けられているのがわかった。それに最近、ウイルス入りのメールも流行してるらしい…。(これも、「Y2K」騒ぎに似ているのかも知れないが…)ひとまず、これで安心だ。

【遊んでばかり、いられないね】

どうやら、僕は趣味の世界に没頭すると周りが見えなくなるタイプらしい。「高い買い物したんやから、何か、お金になることに、役立てやう」という妻の言葉で耳が痛い。



「うーん、何かいいことないかな?やれやれやれ…。衝撃的な二〇〇一年は宇宙旅行することなしに、過ぎてしまったし…。うーん、そう言えば、確かプログラマーって日本じゃ、かなり需要が高い職種らしいな…。でも、あまり高望みはあかんしな。」「そんなことを考え、「ピンポンパン体操」を聞きながら、ルンルン気分仕事している、今日この頃である。

本

の紹介

宗 左近著

「宮沢賢治の謎」

— 縄文の記憶・他界の人・謎の詩人 —

実を言うと宮沢賢治は私にとつて不思議な詩人です。そして大変気になる存在なのです。なぜなら分らないからです。童話も詩も若いときに読みかじっただけですが、でもソウイフモノになりたい、くらいは分かりますが、「クランボンはわらったよ」「クランボンは死んだよ」などといきなりいわれても、クランボンって一体誰なの？何なの？ 人なの？ 動物なの？ 魚なの？ 水澄ましなの？ と狐につままれてしまいます。それにジョバンニだの、カンパネラ、ゴーシユ、イーハトーブなどバツクさい名前が沢山出てきて、何処の国の話だろうと考えます。魅力的ですが何か分からないところがある不思議な詩、同時代の他の詩人達がうたわんとしていることは分かるのですが、宮沢賢治だけはなぜか理解の外にあるのです。分からないというには無意味です。民話の世界でもなし、シュールでもないし、何なのだろう・・・と、そのうちに忙しくなつて賢治のことは忘れてしまいました。

そして昨年の夏、東京の本屋で見つけたのが詩人の宗左近氏著のこの本「宮沢賢治の謎」です。賢治の詩の秘

密を知りたいという記憶が蘇り、すぐ読んでみることにしました。

宮沢賢治。それは（謎）なのです。わたしには（謎の生命（いのち））なので。とのつけから著者の宗左近さんは書いています。この本は詩人の著者を道案内に、多くの人が知っている賢治の詩と童話に隠された賢治の秘密を十の章にわたつて探して歩いていけば宝探しのような本です。「小岩井農場」「青森挽歌」に現れた最愛の妹とし子への感情、「銀河鉄道の夜」のキラキラした宇宙空間での死者との交流、読み始めると賢治の異相の世界に引き戻されます。

宮沢賢治は一八九六年岩手県花巻市に生まれ、一九三三年三十七歳で亡くなりました。盛岡高等農林学校卒業後、一九二二年、二十五歳の時上京、一九二六年までガリ版切りで生計を立てながら熱心な日蓮宗徒の賢治は国柱会で奉仕をします。この大正末期の五年間が賢治が沢山の詩や童話を矢継ぎ早に憑かれたように書きまくつたラアナティックな時代と、著者は言います。即興の早書きで、苦

吟のあとがないそうですからまさに天才です。いわゆる大正デモクラシーが爛熟したこの五年間に賢治は東京で誰と付き合つたり、どんな影響を受けたのでしょうか。この本にはその辺のことはあまり触れていません。

二六年の夏、妹とし子の病気で、賢治は花巻に戻り農業学校の教師になります。その後の賢治は憑き物が落ちたようで作家として沈黙期に入り、農学校も辞め、「本統の百姓」に徹しました。晩年の賢治の作品は「春と修羅第一集」に見られるような存在不明からの言葉がなくなり、多次元から単次元へ、平面的になった。文字を捨てて宗教人になった賢治、修羅となつて言葉で、救われたい人間を救わないでそのまま放置しておく帝釈天と戦うことを止めた賢治、と著者は解釈しています。そして、昭和二年作の「野の師父」の中に著者は「詩」を捨て、仏の「法」に従う賢治を発見、失望しています。（筆者も失望しました。）

仏教徒の賢治ですが、その作品には、何か更に深い始源的なものがある

と著者は感じ、メキシコの詩人オクタヴィオ・パスの「詩は国の記憶である」言葉を引用して、仏教の渡来や古代神道以前の縄文人の信仰ともいふべき縄文の記憶、原体験に近いものが基層にある。それは存在の意味を求めて過去へ遡る「還相」の深さである、と言います。彼は読者を永遠の存在の中へ希望を与えて放り出しましたが、でも彼自身は仏典に帰依して国訳妙法蓮華経を一千部刷つて知己に配るよう遺言して去りました。

この詩人は、誰よりも、そして何よりも謎です。なぜか。他界から来た人だからです。当今の言葉で言えば宇宙人、したがって、その言葉は、宇宙語の日本語訳なのです。極めて難しいのです。その解説は多分不可能です。・・・しかし、読んでみると私のなかの闇の奥から響き出るものがあるので、・・・と著者は後書に書いています。宮沢賢治は寂しい詩人です。そして、謎の詩人です。（宗左近）

（新潮選書 一千百六十五円
ISBN4-10-600483-6）



編集室から



■昨年秋から、中国医学校でいよいよ臨床実習が始まりました。いろんな人達が診察にやってくる。まるで社会の裏側を見るようです。日常生活のストレスが自律神経の働きを乱し、免疫力を下げて、癌やその他の病気を引き起こすと言われていますが、古代人の知恵の結集である鍼治療を先生のしなやかで敏捷な指の動きを見ながら、中国伝統医学の奥の深さに改めて感心しています。(順子)

■仕事に弾みがつくよう BGM を時々流す。デザイナーの人達が集まってこの号の最終貼り合わせの時、ある人から貰った越路吹雪ダウンロード盤をかけた。サントワマミー、ラストダンス、誰もいない海、

バラ色の人生、私の心はバイオリン、ろくでなし……懐かしい曲が次々と出てくる。「ああ、これアダモの歌だ。」「ああ、これ丸山明宏だ。」と口々に叫びながら手を動かしている。宝塚のテーマソング「スマレの花咲く頃……」もある。宝塚の誰の持ち歌だったのだろうか？ 国歌論争の時、この歌を国歌にしたらと言ったのは作家の田辺聖子さんだ。名家だと思う。自衛隊が「スマレの花咲くころろっ」と大合唱する姿を想像するだけで微笑ましくなる。国歌だって、シリアスより楽しい方がよい。それにしても最近のポピュラー音楽には歌いたくなるような曲が少なくなってきた気がするがこちらが知らないだけであらうか。オジサン音楽愛好家、青柳さん同様、イ

ンターネットからダウンロードして音楽を聴く人達を苦々しく思っていたが、越路吹雪のダウンロードを買ってから少し考えが変わって来た。

■年明けに知っている方が相次いで亡くなった。一月二日の城倉貞子さんが入院先の病院で他界され、翌三日に船坂真一氏が急逝された。城倉さんは乳ガンが再発して三年目、ずっと治療を継続されていたが闘病の甲斐なく死去された。船坂さんはまり夫人のお話では以前から心臓が悪かったが、お正月三日の午後眠るように大往生されたそうである。享年八十三才であった。

船坂さんはカナダ三井物産社長、トヨタカナダ会長を勤められたカナダ日系ビジネスの大先達であり、引退されてからは裏千家トレント支部長をなさっていた。阿川弘之、開高健など作家との交流も深く、九二年秋のオーロラ創刊号に「カナダの開高健」をご執筆頂いた。それは開高健の想い出が短い文章の中に凝縮された珠玉のエッセイであった。

城倉さんには乳ガンの体験を「しこりこりゴリ記」「しこりチリジリ記」の二回にわたり寄稿して頂いた。ご自身の苦痛にもかかわらずガン闘病の貴重な記録を同病と闘う人々のために公開してくださったのである。

お二方のご冥福を心より祈念させていただきます。(スエ)



JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO

730 QUEEN ST. W. TORONTO

TEL (416) 703-4550/FAX (416) 703-8593

<http://www.toronto-sanko.com>

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料16ドル(カナダ国内送料GST込み) 米国16米ドル
小切手を添えて郵送でお申し込み下さい。

ネーム _____
アドレス _____
郵便番号 _____



オーロラ

(代表・平塚かずよ)

SHISEIDO

BEAUTY INSTITUTE



資生堂125年の歴史を展示するギャラリー
(ビューティ・インスティテュートの内部)

SHISEIDO BEAUTY INSTITUTE では、毎日、スキンケア・メーキャップなどの各種美容講座を開講しています。

カナダの皆様にも、資生堂化粧品をもっと知っていただきたい、という願いを込めて、講座へのご参加は完全無料、会場での商品の販売も一切ありません。

なお、座席数に限りがありますので、事前にお電話にてご予約下さい。

住所： 1 Dundas Street W., Suite 2405
Toronto, ON M5G 1Z3

電話： 416-408-3700 (英語)

または、SHISEIDO CANADA (本社)

電話： 905-763-1250 (日本人スタッフ常駐) まで、お気軽にどうぞ

さりげなく、贅沢に時を過ごす。

ショーフレックスは
そんな演出のプロフェッショナルです。

- ◆ ご送迎、ホテル・空港でのチェックインサービスも致します。
- ◆ ナイアガラ観光は、快適なリムジンでどうぞ。
- ◆ 大・小バス、ストレッチリムジン、セダン等の各種サービスがあります。
- ◆ すべてのサービスは、日本語による親切丁寧なライセンスガイドまたはドライバーがご案内致します。

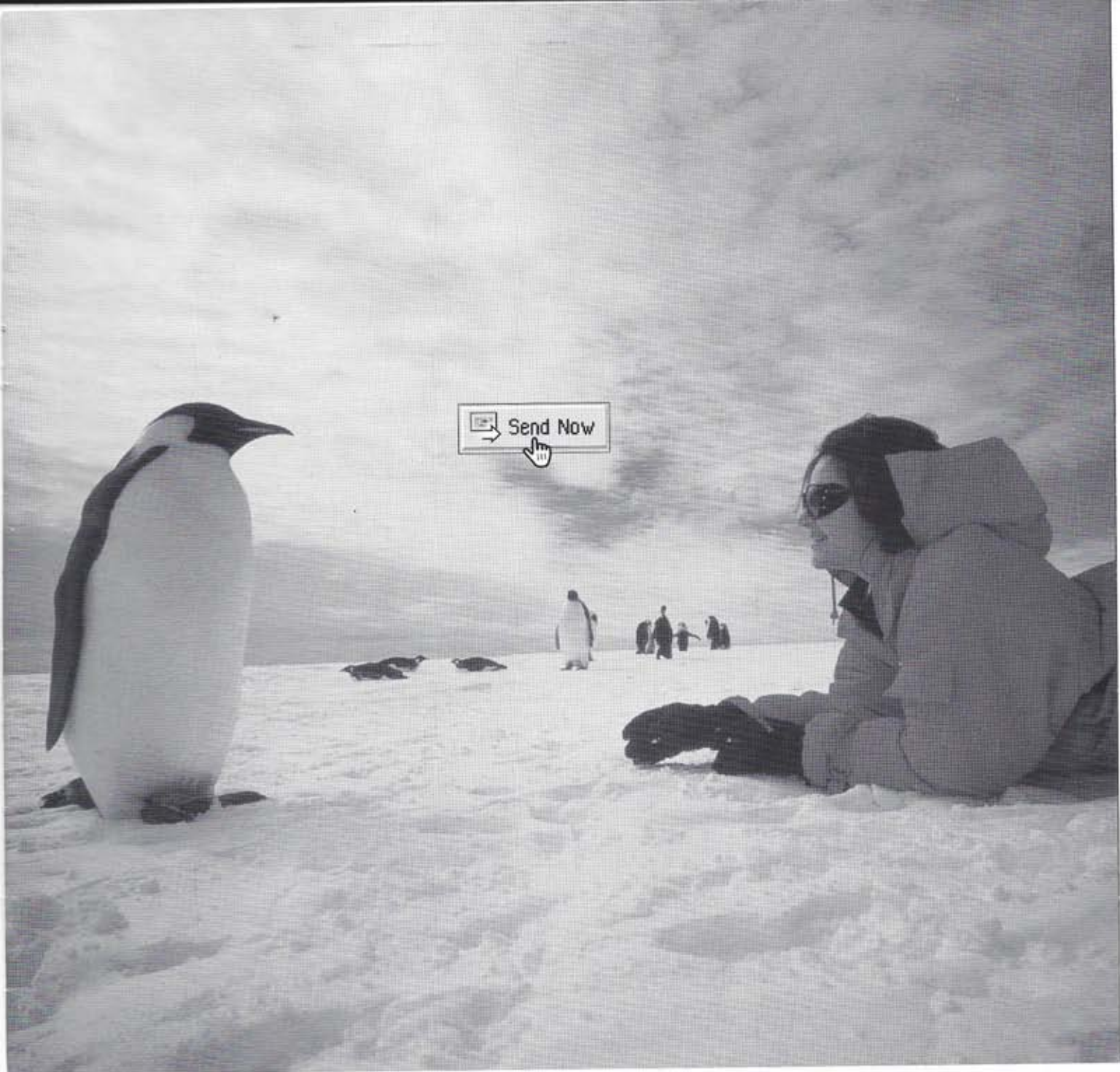


ShowFlex International Inc.

315 Adelaide St. West, Ontario M5V 1P8 Canada

Tel: (416) 977-6849 Fax: (416) 977-7250

E-mail: info@showflex.com



What do you call a camcorder that's part computer?

Introducing the MICROMV DCR-IP7BT, the world's first internet ready digital camcorder. Via Bluetooth technology, images or video clips captured on the Sony Memory Stick can now be e-mailed without hooking up to a computer. Now you can shoot incredible MPEG2 digital video, amazing digital stills and surf the web with a camera that somehow measures only 4" by 3" by 2". How do we do it? Simple, it's a Sony.

Network Handycam IP Bluetooth MICROMV

Sony, MICROMV and Memory Stick are trademarks of Sony Corporation. The BLUETOOTH trademarks are owned by Bluetooth SIG, Inc. U.S.A.

SONY

www.sonystyle.ca 1-888-289-7669